

豊橋市自然史博物館年報

第 35 号

令和 4 年度

ANNUAL REPORT OF THE
TOYOHASHI MUSEUM OF NATURAL HISTORY

No. 35

2022 - 2023

豊橋市自然史博物館

Toyohashi Museum of Natural History

Toyohashi 441-3147, Japan

はじめに

令和4年度の目玉事業として特別企画展「ポケモン化石博物館」を開催することができました。北海道の三笠市立博物館に始まり、島根県立三瓶自然館、国立科学博物館に次ぐ国内4館目の開催です。当館の開催時期は、コロナウィルスの感染状況が落ち着いていたため、来館予約を必要とせずに開催することができました。観覧者総数は約13万9千人。通常の特別企画展の観覧者数は1万6千人前後なので、いかに多かったかということがお分かりいただけるかと思います。市民の皆さまをはじめ、初めて来館（園）された方も多く、常設展や動植物公園を紹介できる良い機会となりました。化石に興味がありませんでした方々にもポケモンと化石を見比べることを通して、化石研究の一端を知ることができたのではと思います。また、ポケモンがデザインされたマンホール「ポケふた」が、市内4か所に設置されました。「ポケモン化石博物館」と共に見学された方も多かったと思います。設置当初は、動物園中央門付近でハザードランプを点滅させて停車しているタクシーをよく見かけました。ポケふた4か所を効率よく巡るため、タクシーの利用が増えたとのことでした。

豊橋市が推進する「豊橋版GIGAスクール構想」の一環として、オンライン授業『「ポケモン化石博物館」で化石を学ぼう』を市教育委員会と連携して実施しました。特別企画展をきっかけに化石について興味を持ってもらおうというもので、豊橋市立全小中学校（74校）の約1万5千人を対象に配信することができました。また、出前授業でリクエストの多い『小6理科「土地のつくりと変化」』をデジタルコンテンツ化し、出前授業で活用する実証実験なども行いました。デジタル機器の効果的な活用、デジタル化のステップが、また1段上がったと体感した1年でした。

令和4年度、当館が位置する豊橋総合動植物公園（通称「のんほいパーク」）の入園者が、開園以来初となる年間100万人を達成。自然史博物館の入館者も過去最高の約78万人を記録することができました。ご来館いただいた皆様をはじめ、ご支援ご協力いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

ここに年報第35号を発刊いたします。ご高覧の上、お気づきの点などについてご指導をいただければ幸いです。

令和5年7月
豊橋市自然史博物館

目次

はじめに.....	2
I. 年間事業.....	3
1. 令和4年度のあゆみ.....	3
2. 教育普及活動.....	4
(1) 第36回特別企画展「ポケモン化石博物館」.....	4
(2) 企画展.....	22
(3) トピック展示.....	22
(4) 博物館のウラワザ.....	23
(5) 大型映像.....	23
(6) 東三河ジオパーク構想事業.....	25
(7) ワークショップ・展示解説会など.....	27
(8) 総合動植物公園関連イベント.....	31
(9) 第18回自然史博物館自由研究展.....	32
(10) 自由研究相談.....	33
(11) 市民からの質問等対応.....	33
(12) 小中高等学校等の学習支援.....	33
(13) 博物館実習生等の受入れ.....	35
(14) 研修等の受入れ.....	36
(15) 出版活動.....	37
(16) 連携・共催事業等.....	37
(17) 講師・委員の派遣等.....	37
(18) ふるさと寄附体験型返礼品.....	40
(19) VR博物館.....	40
3. 学会誘致活動.....	42
(1) 日本動物考古学会.....	42
4. 調査研究活動.....	43
(1) 学芸員の論文業績等.....	43
(2) 外部研究資金助成等の獲得.....	47
5. 資料の収集・保管活動.....	49
(1) 採集資料.....	49
(2) 寄贈資料.....	49
(3) 収蔵資料状況.....	52
(4) 哺乳類等の資料化.....	52
(5) ヒゲクジラ類クジラヒゲの標本化.....	52
(6) 外部研究者の資料利用.....	52
(7) 資料及び標本の貸出・借用.....	52

(8) 図書.....	54
6. 施設整備.....	56
(1) 収蔵庫3標本棚.....	56
(2) 収蔵庫4標本棚.....	56
(3) 収蔵庫5標本棚.....	56
(4) 収蔵庫4空調機器.....	56
(5) 無線LAN整備.....	56
(6) 修繕等.....	56
II. 利用状況.....	58
1. 入館者.....	58
(1) 自然史博物館利用統計.....	58
(2) 入館者種別.....	59
(3) ホームページ閲覧者数.....	60
(4) 石巻自然科学資料館入館者状況.....	61
III. 組織及び運営.....	62
1. 組織.....	62
(1) 運営組織.....	62
(2) 自然史博物館職員.....	62
2. 博物館の使用料等.....	63
3. 決算.....	64
(1) 令和4年度歳入歳出決算.....	64
4. 豊橋市自然史博物館協議会.....	65
5. 各種委員会.....	66
(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員.....	66
(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会.....	66
(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選 定委員会.....	66
6. 自然史博物館ボランティア.....	68
IV. 条例、規則、要綱.....	70
V. 自然史博物館の概要.....	76

※本文中の敬称は省略させていただきます。

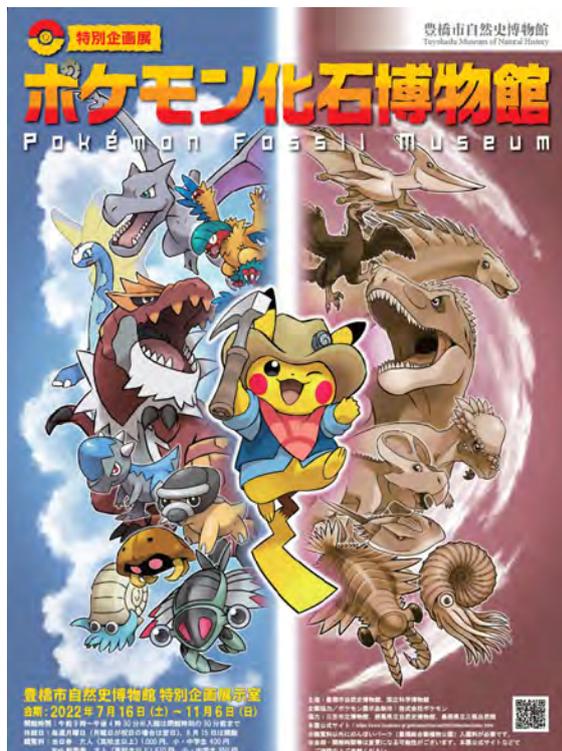
I. 年間事業

1. 令和4年度のあゆみ

4. 4. 1 大型映像「ダイナソーミュージアム 3D 版」他（～6. 19）
 4. 4 臨時開館
 4. 9 企画展「新蔵資料／学芸員の研究成果紹介展」（～5. 8）
 4. 28 トピック展示「ボランティアが発見した新種のハチ」（～5. 29）
5. 2 臨時開館
5. 14 企画展「表浜の自然」（～6. 12）
5. 15 博物館ボランティア総会
6. 7 館公式 Twitter 運用開始
6. 14 第1回自然史博物館研究委員会
6. 18 企画展「切手になった昆虫」（～7. 17）
6. 25 日本動物考古学会第9回大会（～6. 26）
6. 26 日本動物考古学会普及講演会「貝塚から探る昔の自然と人々の暮らし」
7. 1 図書館×自然史博物館コラボ企画「夏のとよはし化石ライブラリー」（～9. 5）
7. 16 特別企画展「ポケモン化石博物館」（～11. 6）
7. 16 「ポケモン化石博物館」開催記念プレミアム解説会
7. 16 「ポケモン化石博物館」開催記念講演会「「ポケモン化石博物館」で学ぶ最新古生物学」
7. 22 ナイト ZOO（～9. 25）
7. 29 博物館実習生の受入れ（～8. 5）
8. 15 インターン受入れ（～9. 11）
8. 15 臨時開館
8. 18 第1回自然史博物館協議会
8. 27 「ポケモン化石博物館」開催記念講演会「化石化のメカニズムをさぐる」
9. 6 企画展「Iron-Dinos:鉄の恐竜展」（～10. 10）
9. 18 「ポケモン化石博物館」開催記念講演会「小さな化石の最新研究」
10. 10 特別企画展「ポケモン化石博物館」観覧者 10 万人達成
11. 11 「ポケモン化石博物館」3D ビュー + VR（マーターポート）の公開
11. 12 第18回自然史博物館自由研究展（～12. 4）
11. 18 トピック展示「新鉱物「浅葱石」」（～1. 22）
11. 19 第18回自然史博物館自由研究展表彰式
11. 20 名古屋大学出前授業①「西之島火山—その謎に海と空から迫る—」
11. 26 名古屋大学出前授業②「ウイルスを運ぶコウモリは「ワルモノ」？」
12. 10 大型映像「秘密の博物館 3D 版」他（～2. 28）
12. 16 恐竜大掃除
12. 17 企画展「干支展 卯（ウサギ）」（～1. 22）
12. 25 名古屋大学出前授業③「共に生きる虫と菌—木や森との関係—」
5. 2. 11 のんまいパーク年間入園者数 100 万人達成
2. 24 園内防災訓練
3. 1 大型映像「恐竜超世界 3D 版」他（～6. 18）
3. 10 第3回自然史博物館研究委員会
3. 16 第2回自然史博物館協議会
3. 27 臨時開館

2. 教育普及活動

(1) 第36回特別企画展「ポケモン化石博物館」



© 2023 Pokémon. © 1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

開催期間：令和4年7月16日（土）
～11月6日（日）99日間
会場：特別企画展示室（約600㎡）
主催：豊橋市自然史博物館、国立科学博物館
企画協力／ポケモン展示品制作：株式会社ポケモン
協力：三笠市立博物館、群馬県立自然史博物館、島根県立三瓶自然館
総合監修：相場大佑（元・三笠市立博物館）
学術監修：一田昌宏（豊橋市自然史博物館）、高桑祐司（群馬県立自然史博物館）、井上雅仁（島根県立三瓶自然館）、遠藤大介（元・島根県立三瓶自然館）、唐沢與希（三笠市立博物館）
概要：人気ゲーム『ポケットモンスター』シリーズに登場するふしぎな生き物「ポケモン」にはカセキから復元さ

れるポケモン（以下「カセキポケモン」と呼ぶ）がいくつか知られています。この展示は、「カセキポケモン」と私たちの世界で見つかる「化石・古生物」を見比べて、似ているところや異なっているところを発見し、古生物学について楽しく学んでいただくものです。

展示点数：約1,260点（微化石含む）
170点（微化石含まず）

担当

企画・展示：一田昌宏
展示用映像：加藤千茶子、一田昌宏
教育普及・外部連携：一田昌宏
運営：一田昌宏、太田里香、丹羽美春
広報：一田昌宏、丹羽美春、稗田真也
市役所内連携：一田昌宏



※特別企画展示室受付付近

【展示構成】

1. コア展示1～それぞれの世界の化石研究
ポケモンの世界と我々の世界。それぞれの世界の化石研究について、「カセキポケモン」のオムナイトと我々世界のアンモナイトを取り上げて紹介。
＜ポケモン展示品＞
ピカチュウ&プテラ実物大模型 1、かいのカセキ実物大模型 1、オムナイト実物大模型 1、オムスター実物大模型 1
＜古生物展示＞
野外調査道具 10、クリーニング道具 8、アンモ

ナイト生態復元模型 1、アンモナイト（未クリーニング）1、現生頭足類 4、アンモナイト化石 14。

中部地方のアンモナイト等 10、大型ドイツ産アンモナイト 1（当館独自展示）。



<古生物展示>

現生カブトガニ剥製、古生代カブトガニ化石 1、中生代カブトガニ化石 1。

古生代カブトガニ化石 1、中生代カブトガニ化石 1（当館独自展示）。



2. 比較展示

「カセキポケモン」と「カセキポケモン」に似た古生物を観察しながら、見比べる。

①タテトプスとトリデプス／角竜

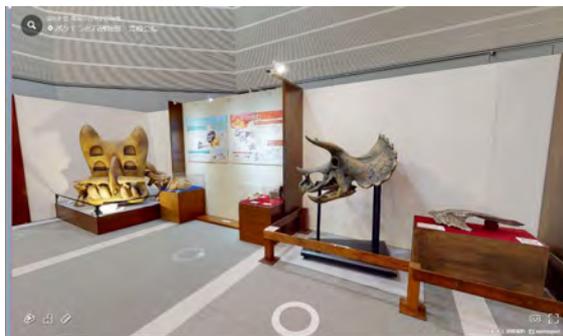
<ポケモン展示品>

たてのカセキ実物大模型 1、トリデプス実物大全身骨格想像模型 1

<古生物展示>

トリケラトプス幼体頭骨レプリカ、トリケラトプス成体頭骨 1 / 2 模型 1、プロトケラトプス頭骨 1、トリケラトプス歯化石 1。

トリケラトプス腸骨 1（当館独自展示）。



②カブトとカブトプス／カブトガニ

<ポケモン展示品>

こうらのカセキ実物大模型 1、カブト実物大模型 1、カブトプス実物大全身骨格想像模型 1。

③アマルスとアマルルガ／アマルガサウルス

<ポケモン展示品>（当館で初お披露目）

ヒレのカセキ実物大模型 1、アマルルガ全身骨格想像模型 1。

<古生物展示>

アマルガサウルス全身骨格レプリカ 1 (W8100、D2680、H3125)。

スーパーサウルス肩甲骨 1（当館独自展示）。



④ズガイトスとラムパルド／パキケファロサウルス

＜古生物展示＞

パキケファロサウルス成体頭骨レプリカ 1、パキケファロサウルス亜成体頭骨レプリカ 1。



⑤ジーランス／シーラカンス

＜ポケモン展示品＞

ジーランス実物大模型 1。

＜古生物展示＞

古生代～中生代シーラカンス化石 3。現生シーラカンス生態模型 1。



⑦アノプスとアーマルド／アノマロカリス

＜ポケモン展示品＞

ツメのカセキ実物大模型 1、アノプス実物大模型 1。

＜古生物展示＞

アノマロカリス生態模型 1、アノマロカリス全身レプリカ 1、アノマロカリス実物化石 2。
アノマロカリス含むチェンジアン動物群及びバージェス動物群実物化石 40 (当館独自展示、追加解説パネルあり)。



⑥メガヤンマ／メガネウラ

＜古生物展示＞

メガネウラレプリカ 1、中生代トンボ実物化石 2。

中生代トンボ実物化石 2、新生代ヤゴ実物化石 1 (当館独自展示)。

⑧プロトーガとアバゴーラ／アーケロン

＜ポケモン展示品＞

ふたのカセキ実物大模型 1。

＜古生物展示＞

プロトステガ・ギガス頭骨レプリカ 1、プロトステガ科椎骨実物化石 1。

プロトステガ・ギガス全身骨格レプリカ 1 (当館独自展示、福井県立恐竜博物館蔵)。



⑨プテラ／翼竜

<古生物展示>

プテラノドン全身骨格レプリカ 1、ディモルフ
オドン全身骨格レプリカ 1、プロダクティルス
全身骨格（実物）1。

翼竜・始祖鳥・鳥の翼の構造解説パネル 1（当
館独自展示）。



⑩リリーラとユレイドル／ウミユリ

<ポケモン展示品>

ねっこのカセキ実物大模型 1、リリーラ実物大
模型 1。

<古生物展示>

古生代～新生代ウミユリ実物化石 6。



⑩アーケンとアーケオス／始祖鳥（アーケオプ
テリクス）

<ポケモン展示品>

ハネのカセキ実物大模型 1、アーケン全身骨格
想像模型 1。

<古生物展示>

始祖鳥全身骨格（ベルリン標本）レプリカ 1、
始祖鳥全身骨格レプリカ（組上げ）1。

コンプソグナトゥス全身骨格レプリカ 1（当館
独自展示）。



3. コア展示 2～

ティラノサウルスを例に化石研究を紹介する
とともに、DNA からの復元など未来の研究の
可能性を紹介。

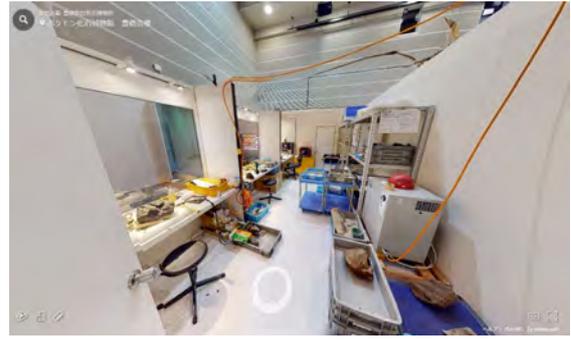
<ポケモン展示品>

あごのカセキ実物大模型 1、チゴラス実物大骨
格想像模型 1、ガチゴラス実物大骨格想像模型
1、ひみつのコハク 1。

<古生物展示>

ティラノサウルスの頭骨 2（幼体、亜成体）、メ
ガロサウルス下顎レプリカ 1、エゾセラス・エ
レガンス（ホロタイプ）レプリカ 1、虫いりコ
ハク 6。

ティラノサウルス下顎骨 1、椎骨 1（当館独自
展示、実物、名古屋市科学館蔵）。



4. かせき研究ラボ

豊橋市自然史博物館の化石分野で行っているクリーニングやラベル作成、3D データ編集・出力等を実際に観覧者の前で行う展示「かせき研究ラボ」を設置した。担当学芸員及び当館の資料整理ボランティア（化石）が、50 日程度実施した。

<主な展示物等>

現生の底生有孔虫サンプル（約 1,000）、古生代有孔虫化石（約 50）、コノドント化石（約 30）、3D プリンタ出力模型（10）。

<使用機器等>

エアスクライバー・コンプレッサー等機械クリーニング道具一式、恒温器、プリンター、3D プリンター、PC。



5. 大型映像機器の活用

これまでの特別企画展で初めて大型映像のスクリーンとプロジェクターを活用し、映像を投影した。映像は、Youtube 上で公開されている「ポケモン化石博物館」紹介動画と「ポケモン化石博物館」のアートのスライドショーで構成した。



6. 常設展との連携「とよはくツアー」の開催

「ポケモン化石博物館」で展示されているもしくは関連している常設展示室の化石について追加解説パネルを 9 か所設置し、特別企画展観覧者を常設展示に誘導し、より古生物学について知っていただくために、「とよはくツアー」を開催した。「とよはくツアー」のチラシは 50,000 部印刷し、特別企画展観覧者以外も利用できるように、特別企画展示室出口及び自然史スクエアに配架した。

パネル設置場所は以下の通り。

No.	展示室	展示場所
0	イントロホール	化石壁横
1	自然史スクエア	ティラノサウルス 全身骨格横
2	自然史スクエア	トリケラトプス全 身骨格横
3	古生代展示室	メガネウラ横
4	中生代展示室	カプトガニ足跡化 石横
5	中生代展示室	アンモナイト
6	中生代展示室	始祖鳥と孔子鳥展 示ケース横
7	中生代展示室	ランフォリンクス 展示ケース内
8	エドモントサウ ルス展示室	エドモントサウル ス実物全身骨格



※「とよはくツアー」チラシ



【関連行事等】

「ポケモン化石博物館」開催記念講演会①『「ポケモン化石博物館」で学ぶ最新古生物学』

講師：三笠市立博物館研究員 相場大佑

期 日：令和4年7月17日（土）

参加者：60人

内 容：カセキから復元されるポケモンと私たちの世界の古生物の比較を通して最新の古生物学を学びます。



「ポケモン化石博物館」開催記念講演会②「化石のメカニズムをさぐる」

講 師：九州大学総合研究博物館教授 前田 晴良

期 日：令和4年8月27日（土）

参加者：52人

内 容：「化石はなぜ残るの？」という単純な疑問から新しい事実がわかります。その実例を紹介します。



「ポケモン化石博物館」開催記念講演会③「小さな化石の最新研究」

講 師：当館学芸員 一田昌宏

期 日：令和4年9月18日（日）

参加者：30人

内 容：特別企画展担当学芸員が最新の小さな化石の研究成果についてお話しします。



ワークショップ「化石クリーニング体験」

講 師：一田昌宏（当館学芸員）

期 日：令和4年8月5日（金）、8月31日

（水）

場 所：学習室1

参加者：6人、7人

内 容：三葉虫を含むノジュールをクリーニングした。



解説会

「ポケモン化石博物館」開催記念プレミア解説会

講 師：相場大佑（三笠市立博物館研究員）、一田昌宏（当館学芸員）

期 日：令和4年7月16日（土）

実施回数：3回

場 所：特別企画展示室

参加者：410人

内 容：「ポケモン化石博物館」総合監修相場博士と監修の当館学芸員によるプレミア展示解説。

「ポケモン化石博物館」展示解説

講 師：一田昌宏（当館学芸員）

実施日及び参加者数等：

開催日	開催回数	参加者数
7/30	1	110
8/13	1	70
8/20	1	100
9/3	1	120
9/17	1	130
10/1	1	130
10/15	1	140

10/29	1	150
10/30	3	500
合計	11	1,450

場 所：特別企画展示室

参加者：合計 1,450 人

内 容：「ポケモン化石博物館」学術監修を担当した当館学芸員による展示解説。これまでの特別企画展では実施されていなかったが、より教育効果を高めるために、企画・実施した。



オンライン授業『「ポケモン化石博物館」で化石を学ぼう！』

講 師：一田昌宏（当館学芸員）

期 日：令和4年7月19日（月）

第一部 小学1年生～4年生

第二部 小学5年生～中学3年生

場 所：オンラインで繋いだ特別企画展会場と豊橋市内市立小中学校各教室

参加者：約 15,000 人（第一部 7,000 人、第二部 8,000 人）

内 容：特別企画展会場から「ポケモン化石博物館」の展示解説と化石・古生物学について講演を行った。講演後、各教室と質疑応答を実施。豊橋市として実施したオンライン授業としては最大規模。広報効果とともに特別企画展の教育効果を高めるために実施。国立科学博物館等本展関連機関にも中継した。※詳細は、全科協

News, vol. 53, NO. 1, p. 2-4 を参照のこと。



【開会式・内覧会】

開催前日に、開会式及び内覧会を実施した。主催及び来賓あいさつの後に、テープカットを行った。式典終了後、株式会社ポケモンより寄贈された「ポケふた」のお披露目も行った。※「ポケふた」は7月24日（日）まで自然史スクエアにて展示された。

期 日：令和4年7月15日（金）

場 所：自然史スクエア

来賓：堀田伸一（豊橋市議会議員）、服部悦哉（株式会社ポケモン アートディレクター）、相場大佑（三笠市立博物館主任研究員・「ポケモン化石博物館」総合監修）、発掘ピカチュウ
主催者側出席者：浅井由崇（豊橋市長）、匂坂克久（国立科学博物館理事（兼）副館長）、杉浦康夫（豊橋市副市長）、二川小学校6年生児童、二川南小学校6年生児童





【発掘ピカチュウグリーティング】

「ポケモン化石博物館」を案内する「発掘ピカチュウ」が参加するグリーティングを9日間実施。

【VRの公開】

「ポケモン化石博物館」3Dビュー +VR (マターポート) を公開。

※公開終了時期未定

URL :

<https://my.matterport.com/show/?m=yqZdJgsHR37>

【事業費】

総事業費 27,956,000 円 (予算額)
24,093,303 円 (決算額)

【観覧者数】

有料 101,187 人
無料 38,065 人
合計 139,252 人

(1日平均1,407人)

月別観覧者数 (人)

月	日数	有料	無料	計
7月	14日間	16,266	5,527	21,793
8月	27日間	34,418	11,213	45,631
9月	26日間	17,460	6,773	24,233
10月	26日間	25,350	10,972	36,322
11月	6日間	7,693	3,580	11,273
計	99日間	101,187	38,065	139,252

※7月23日(日)(開催7日目)10,000人

8月19日(金)(開催31日目)50,000人(セレモニー参加者:館長、発掘ピカチュウ)

10月10日(月・祝)(開催76日目)100,000人(セレモニー参加者:市長、発掘ピカチュウ)

【観覧料】

大人 1,000円(前売り・団体 800円)

小中学生、市内在住70歳以上 400円(前売り・団体 360円)

【印刷物】

・ポスター B2カラー (1,000枚)

・ポスター B1カラー (500枚)

・広報用チラシ A4カラー (230,000枚)

※年間優待券販売データを基にして、東三河各市町村及び湖西市、岡崎市の一部、豊田市の一部、刈谷市等の小中学校及びこども園等に例年の約2倍の規模で配布。

・招待券 5,000枚(内、通常分2,000枚、ひとり親世帯配布分3,000枚)

【広報】

<新規分>

・Web広告(設定地域:名古屋都市圏、関西都市圏、静岡西部)

・特別企画展LP(業務委託)

・館公式Twitter運用開始

・東海道新幹線各駅及び都市部のJR東海ツアーズ店舗でのポスター掲示

<例年分>

・チラシの学校への送付

・各種マスコミなど広報対応

【市役所内連携】

<新規分>

・「ポケふた」設置(市内4カ所)、『「ポケモン化石博物館」豊橋開催記念スタンプラリー』開催、関連団体へのポスター配布、宣伝用コースターの制作配布、フォトスポット制作設置(産業部・観光プロモーション課)



- ・化石展示・講演会・ワークショップにおける
広報活動（文化スポーツ部・図書館）



- ・オンライン授業（豊橋市教育委員会・教育会館）
- ・ひとり親世帯への招待券 3,000 部配布（こども未来部・子育て支援課）
- ・PR TIMES 及び市公式 SNS への投稿、掲載（企画部・広報広聴課）
- ・大学生・高校生の交流スペース ガクラボにおける「知るラボ」の講演による大学生・高校生への広報活動（産業部・地域イノベーション推進室）

<例年分>

- ・市民館などへのチラシ、ポスター配布（生涯学習課・教育部、市民課・市民協創部など）

【オリジナルグッズ】

「ポケモン化石博物館」オリジナルグッズ（図録含む）は、ミュージアムショップ「ルーペス」にて販売。



【協力者・協力機関】※順不同、敬称略

<ポケモン展示品協力>

株式会社ポケモン

<展示資料協力>

三笠市立博物館、国立科学博物館、群馬県立自然史博物館、島根県立三瓶自然館、福井県立恐竜博物館、名古屋市科学館、東海化石研究会、岡島孝義・藤原寛一（三笠市立博物館ボランティアの会）、前川 匠（大阪市立自然史博物館）、米山明男（九州シンクロトン光研究センター）、水野吉昭（東海化石研究会）

<展示画像等協力>

笠岡市カブトガニ博物館、ふくしま海洋科学館、海洋研究開発機構、日本科学未来館・フジテレビジョン・読売新聞社、Ryan Carney、渡辺順也（ケンブリッジ大学）

<教育普及・広報協力>

豊橋市自然史博物館ボランティア、東海旅客鉄道株式会社、株式会社ジェイアール東海ツアーズ、一般社団法人 豊橋観光コンベンション協会、豊橋市産業部観光プロモーション課、豊橋市企画部広報広聴課、豊橋市文化・スポーツ部

図書館、豊橋市こども未来部子育て支援課、豊橋市教育部学校教育課教育会館

© 2023 Pokémon. © 1995-2023

Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

ポケットモンスター・ポケモン・Pokémon は任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。

【アンケート結果】

アンケートは、国立科学博物館及び三菱総合研究所と共同で9月～10月の平日及び休日に実施した。

※夏休み期間以外での調査のため、全期間通しての県外観覧者率は上昇する可能性がある。

アンケート総数：660

①お住まい	合計	%
豊橋市内	112	19%
豊川市	24	4%
(豊橋市・豊川市以外の) 愛知県	235	39%
浜松市	51	9%
(浜松市以外の) 静岡県	41	7%
岐阜県・三重県	53	9%
東京都	11	2%
神奈川県・山梨県	12	2%
千葉県・埼玉県	6	1%
関西(滋賀県、奈良県、京都府、大阪府、兵庫県)	30	5%
その他の道・県	18	3%
海外	3	1%
*集計除外	64	
総計	596	100%

②年齢	合計/合計	%
10代	23	4%
20代	147	25%
30代	242	41%
40代	128	22%
50代	32	5%
60歳以上	22	4%
*集計除外	66	
総計	594	100%

来館頻度をココに入れる

③「ポケモン化石博物館」は どこで知りましたか。	合計	%
テレビ	43	7%
新聞	5	1%
ラジオ	4	1%
チラシ・ポスター	141	23%
雑誌	4	1%
SNS	208	33%
口コミ	11	2%
家族や友人	85	14%
当自然史博物館または、のんほいパークのWebサイト	47	8%
ゲーム関係の情報サイト	24	4%
Web広告	17	3%
のんほいパークに来て初めて知った	21	3%
その他	15	2%
*集計除外	35	
総計	625	100%

④本企画展の感想は いかがでしたか。	合計	%
非常に満足した	380	63%
やや満足した	209	34%
やや不満だった	18	3%
非常に不満だった	1	0%
*集計除外	52	
総計	608	100%

⑤本企画展をご覧になって、 化石や古生物学への興味・関心は深まりましたか。	合計	%
大変深まった	240	40%
やや深まった	321	53%
あまり深まらなかった	42	7%
全く深まらなかった	2	0%

*集計除外	55	
総計	605	100%

⑥今回、当自然史博物館の常設展はご覧になる予定ですか。	合計	%
見る予定である	450	74%
見ない予定である	160	26%
*集計除外	50	
総計	610	100%

⑦今後、企画展が無くても当自然史博物館に来てみようと思いますか。	合計	%
これまで来たことがあるし、今後も来ようと思う	253	41%
これまでは来たことがなかったが、今後は来てみようと思う	131	21%
企画展の内容次第で来てみようと思う	213	35%
来てみようとは思わない	13	2%
*集計除外	50	
総計	610	100%

⑧今後の化石系特別企画展へのご希望（原文ママ）

実際に化石発掘体験ができるの良い／ヘラクレスが観たい！／カンブリアに興味があるのでお願いします／家族で来る方が多いと思うので、化石になった恐竜などの成長速度、むれをなすか、など、子どもにとっても身近な解説があっても面白いと思う／ポケモン第2弾！／とても楽しかったので、他のポケモンもみてみたいです。／発掘体験／音声ガイダンスがあるととってもいいかなと思いました。／化石ポケモン以外もみたい！／大人の料金を下げしてほしい／模型がたくさんある展示。←ロボットを化石にしたらこんな感じ！のような。／実際に化石をさわられるようなもの（石をけずったりとか）／コラ

ボ系はおもしろい／のんびり見たいので、順路ではなくオープンスペースでの展示が好ましい。／地味な化石展／ポケモン第2弾！のほねだけでなく、1びきだけ（アマルルガ）ロボットで動かしてみしてほしいです。／ハヤブサに関する展示！／ポケモンをはじめ、いろんなアニメ、マンガとコラボしたら沢山人くると思います。あと、ミイラとか？／ネアンデアタール人など絶滅人類の企画できたらと思います。／今回のティラノサウルスの復元図の変化等）「同じ化石から、こんなのがイメージできる」というテーマで、違いを見てみたい。／毛がある・ないとか、研究者によって元のイメージにちがいがあるのがおもしろい。／進化の流れが子供にも興味を持てる展示があれば子供と来たい。／宝石などに興味があるので、原石などや古代の石、コハクなど興味あります。／もっとかいせいほちゅうるいがて一まのてんじがあってもいい／発掘からきれいにするまでの段階、手間を知りたい／モンスターハンターはどうでしょうか？／既に開催されていたら申し訳ないのですが、ジュラシックパークに関係する（出演する）恐竜の化石展があったら見てみたいです。／化石ほり／かわいい恐竜の化石みたいです。／ポケモンの第2弾まっています／今回の様なこらぼ企画／今回のように、子どもたちが好きなものになんだ化石や歴史のテーマが展示されるといいと思います。／ジュラシックパーク／モンハン・ドラクエなど、ゲームコラボイベント／モンハンとコラボできたら楽しそう。その他、モンスターがでてくるゲーム等・・・。異常巻きアンモナイトが好きです。／すみっこぐらし／化石発掘／ポケモンコラボがあればまた来ます／日本と海外の化石の違いについて／簡易の化石を実際に作れるイベント／モンスターハンター／「アノマロカリス」の展示で「かつて他の生物だと思われていた」という話がおもしろかったなので、そういう、「かんちがいされた化石」を集めた特別展。／化石の発掘体験／ごめんなさい。今まで化石に興味を持っていなかったの

で、いい案が出ないのですが、ポケモンたちはすごくかわいかったので、今後もキャラクターとからめたものがあるとまた見に来たいです。デジモンとか。あと、ポケモンのBGMとか流れているともっとわくわくできたと思う。／恐竜の実寸大のフィギュアをたくさん見たい（骨格ではなく）。／ポケモンのように化石や化石生物が出てくるアニメなど。／化石発掘の現場の象など見られると嬉しいです。／擬似発掘体験／恐竜と映画をテーマにした展覧を見たい。／郷土の歴史に関連のある化石／子供が楽しめる企画で／東海地方の化石を集めた展示／化石発掘体験／こういったポケモンや、他のアニメやゲームとからめていただくと分かりやすく、興味ももてるのでまた、やってほしい。／もっとかいせいはちゅうるいがて一まのてんじがあってもいい広い展示会場と思っていた。／福井県の恐竜博物館の様にたくさんの骨格展示が有ったらいいなと思います。／節足動物が好きです。／化石発掘体験／深海生物が見たい／ゲームソフト、スプラトゥーンとコラボした、イカ、タコ、深海生物展示／ティラノサウルス特集、古代の亀特集／どのように化石の種類を特定しているのか気になります。発見してからの流れがわかる展示があると、理解が深まるかと思えます。／海の生き物の化石／ゴールデンカムイとアイヌ文化／ゲーム作品（モンスターハンターなど？）／海外でしか発見できないモノなどの展示／またポケモンやってほしい。／ポケモン／展示して欲しい恐竜のアンケートをとって上位のものを展示する。／水生生物に着眼したものをみたいです。／今は思いつきませんが、今回の展示はとても楽しめました。次回も楽しみにしています。／特には思いつきません。／今回の様な、非現実の物をテーマにした物がおもしろいと思った。／ドラえもんの恐竜の話とコラボもあればいいな。／動く恐竜が見てみたい。／ジュラ期とかの表示でなく何年前にしてほしい。イメージがわからない。／さわるができることができるうれ

しい。化石をはっけんしたり、ほったりしてみたいけんがほしい。／化石クリーニング作業をもっと身短で見たい／宝石や鉱物の企画／

⑨自由意見（原文ママ）

映画は新しい物を短い期間でたくさん観たい／売店に古生物（カンブリア）のものを増やしてほしい／楽しく見させていただきました。／少し暑かった。／何かポケモン、化石のミニ図かんみたいなものを今回の入場料と一緒にあればと思いました。／企画展の当日チケット購入場所が分かりにくかった。ポケモンと化石の組み合わせはおもしろく、興味をひかれ、足をはこびたくなった。今後もこのような楽しい企画を期待しています。おもしろかったです。／とても楽しめました／想像以上に楽しめました！／地元を離れたけど久々にきてみてなつかしながら楽しめた。／ピカチュウとプテラのもけい展示ですが、最初をのがすと撮れないので、出口の顔出しパネルと位置を変えた方が良さと思います／面白かったです。／今のままで子供は満足しています。／子供も、大人も楽しめるポケモンというテーマで、すこしとつきにくい分野の展示を行って下さって、大変興味をもってみる事ができました。／アマルルガのほねがかわいかった♡／ベトベターにごみを入れても反応しなかった。残念！！／子供達が恐竜や化石に興味を示すのですが、実際来ると幼稚園児には難しく、大人の説明にもあきてしまいます。今回ポケモンとの関連や、イラストに興味をひく様子があり、普段来るよりも楽しそうに見て回ることが出来ました。／常設展もいつも楽しみに見えています。子どもが恐竜大好きなのでこれからも来ます。／楽しかったです！／とても良かったです。こどもは、外にある恐竜の大きさにびっくりしたし、こうふんしてました！／めちやくちや楽しかったです。想像以上でした。入園料も安いし、アクセスもしやすく、平日はガラガラで最高でした。自然もいいし、もっと宣伝すれば人来ると思っています。ありがとうございます

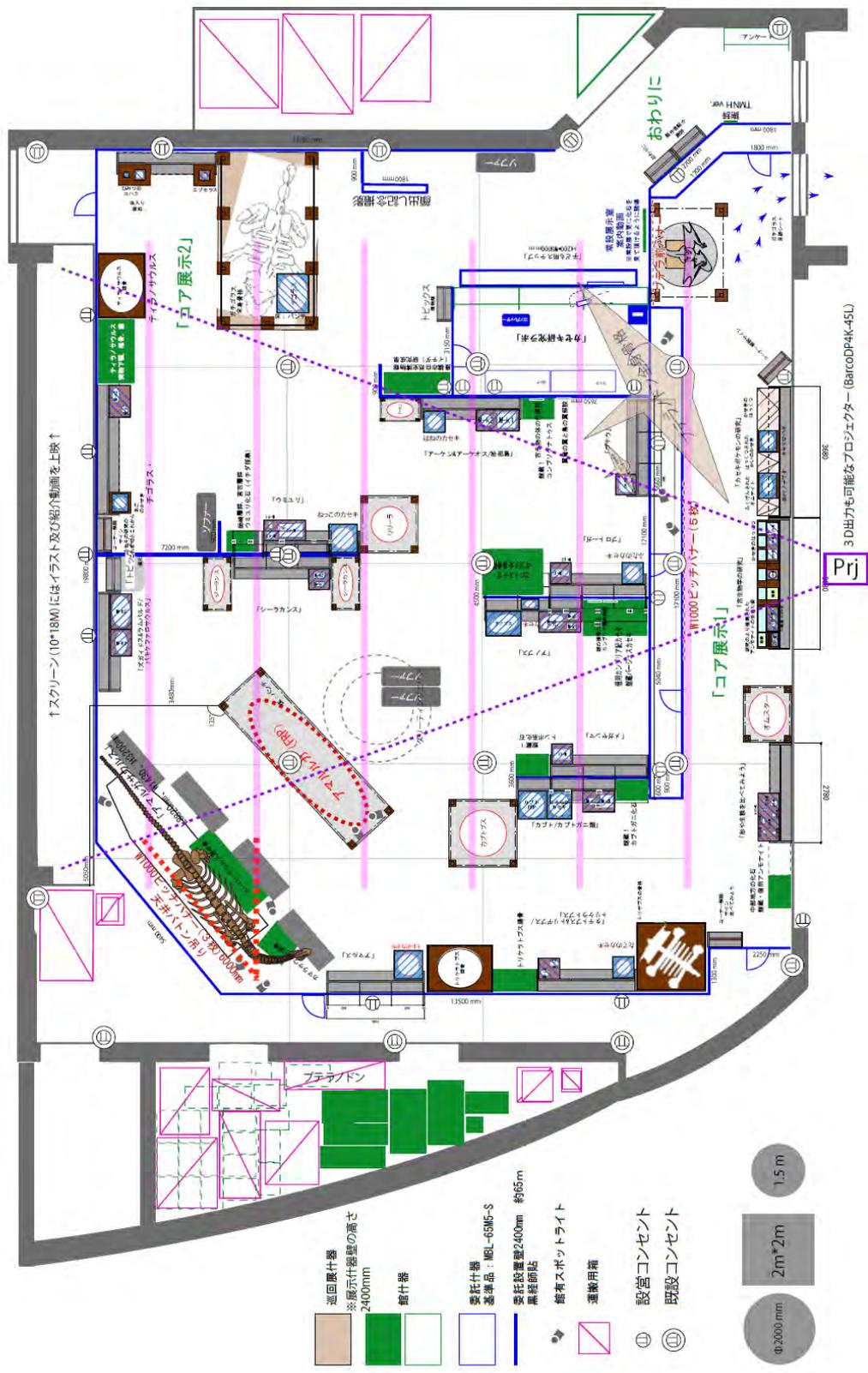
いました。／大変楽しかったです。ありがとうございました！／動きを感じさせる、現生生物と古代生物の動きが比較できるような展示があったら良いなと思います。／初来館でした。とても楽しめました。ありがとうございました。／のんほいパークの入園料自体がもっと高くても良いと思います。いつも運営ありがとうございます。／Ｑ8、入場料ですが、もっと規模が大きくなるのならもっと高くてもまったくかまいませんし、次回開催の足がかりになるならもっと高くてもかまいません。もしまたポケモン関連の開催がありましたら、次回はプテラをもう少しピックアップしていただけたらうれしいです。メガプテラ、まっています！／興味深い展示内容だった／とてもおもしろかったです。／クロノサウルスがあってもいい／今日は横浜から遊びに来ました。駅から近く、入場料も安くて良い所だと思いました。遠いのでなかなか来れませんが・・・また機会があればぜひ！遊びに来ようと思います。／チケットの購入やスタンプ、マンホールの設置場所までスムーズに行けました。分かりやすい設置、案内ありがとうございました。また化石のクリーニング作業の方の集中力がすごくて驚きました。お疲れ様でした。／ぜひもう一度、今度は規模を大きくしてポケモン化石博物館をやっていただきたいです・・・！ステキな展示をありがとうございました！！／ガイドのプログラムを増やしてほしい。体験する機会を増やしてほしい。／子供の成長に併せて、また機会があれば。／すごくおもしろかったです！！／公園入場料とのセット券をお願いします。／鉱物（鉱石）の展示がふえたらうれしいです。／大変きれいな博物館でよかった。／写真をとる際に名称も一緒にうつしたいので、位置をもう少し工夫してほしいです。／これからはがんばってください。／子供が「さわらないで」と書いてある展示品や化石にベタベタ触っているのが、とても不快でした。貴重なものなので、会場内にスタッフを配置した方がよいと思う。ケースも指もんがついてい

て残念。／いつもきれいで、つい寄りたくなります！！今回のポケモン展、すごく面白くて、つい大人が夢中になってしまいました。自分だけでもう1回来たいと思います。／思ったよりせまかった。／はじめて来たのですが、展示内容や展示方法、雰囲気など、とにかく楽しかった。／わかりにくい。化石が。ポケモンに興味がないので、よさは感じられなかった。企画としては、おもしろいかもしれませんが・・・。／博物館の年間優待券やほのくにパスポートで入場できるのがとても嬉しいです。／すごく楽しかったし、わくわくしました。ありがとうございました。／スタッフの方が明るくて入りやすかった。(受付の方)クリーニングをされている方もとても化石への愛を感じられた。／博物館で一日過ごした事があるほど大好きです。これからも応援しています。／企画展の開催おめでとございます。／最後のボランティアの方の作業風景を直接見られるコーナーがおもしろかったです。／最近古生物に興味があった矢先にポケモンのこの化石展があり、楽しみに来ました。企画展の後にも博物館、常設展にうかがう予定ですごく楽しみです！／大好きなポケモンの化石展示、とてもとても大興奮と大感動でした！実際の化石との比較も興味深く、ポケモンとのつながりも感じて勉強になりました。ステキな企画、本当にありがとうございました！／映像や音があるとより楽しめた。／年表があればよい／模型のどの部分が体のどの部位か、解説があるともっと良かったなと思いました。／入場券をイラスト入りにしてほしい。／展示やスタッフさんもとてもよかったです。ありがとうございました。／こどもが恐竜好きなので、近くに博物館があつてうれしいです。初めて来ましたがこれからはもっと来たいと思います。／いつも楽しく拝見させていただいております。年寄りから子供まで楽しめてとても良い博物館だと思います。／楽しい展示ありがとうございました。／楽しかったです。／こどもは隕石にとっても興味をもった様です。ありがとうございました

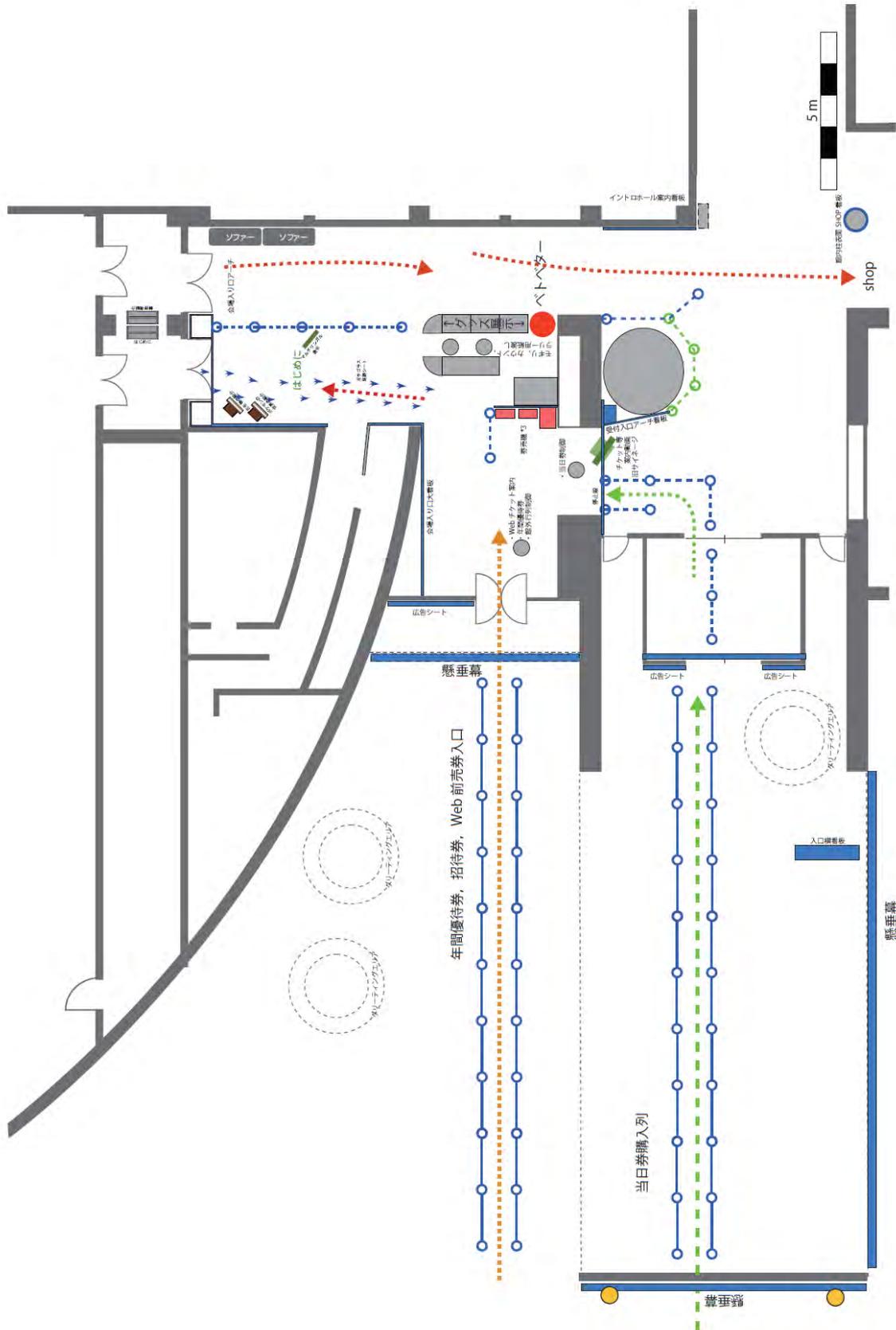
した。／面白かったです。／今では自分でもよく来場し、楽しませてもらっています。これからの企画展にも期待しております。／写真がとれるのがありがたい／楽しかったです！／良い展示だった／すごく楽しかったです。また行きたいです。／とても楽しめました。／家族で楽しめる企画よろしく願います。／家族で楽しめる、今回のような展示があれば家族で再度来たいです。本日は、雨天でゆっくり見学できましたが、夏休み中、連休は大混雑とききました。人気があつてよかったです、当日来た知り合いは残念がっていました。／ロマンを感じた！／今回、とてもたのしく化石について見てまわりました。／家族で旅行に来ました！とても良かったです。／映像系の更なる充実をお願いします。／雑草について展示試食などしてほしい。／じき（じだい）ことスタンプがあればうれしい。かんぶりあ、あくあき・・・などによってあつたらうれしい。／PR 不足。マスコミの有効利用。じぶりと信長に負けた。／とてもたのしかったです。／大型映像をまた楽しみにしています。／よかったです。ありがとうございました。／いつも楽しませてもらってます！！夏休みの体験企画の人数がもっと多いと良いなと思いました。／

豊橋市自然史博物館 第36回 特別企画展会場図
「ポケモン化石博物館」

SUBJECT 特別企画展示室平面図
 SCALE 1/100 (A3)
 DATE 2021.10.15
 2021.12.03
 2022.03.01
 2022.03.25
 2022.03.31
 2022.04.04



【会場図】



(2) 企画展

1) 新蔵資料／学芸員の研究成果紹介展

開催期間：令和4年4月9日（土）～5月8日（日） 30日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：令和3年度に新しく収蔵された標本の展示や、学芸員の最新の研究成果などを紹介。

会期中入場者数：109,234人

2) 表浜の自然

開催期間：令和4年5月14日（土）～6月12日（日） 30日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：表浜に見られる生きものや漂着物を紹介します。

会期中入場者数：60,533人

3) 切手になった昆虫

開催期間：令和4年6月18日（土）～7月17日（日） 30日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：世界の昆虫切手とそのモデルになった昆虫を紹介します。

会期中入場者数：31,717人

4) Iron-Dinos: 鉄の恐竜展

開催期間：令和4年9月6日（火）～10月10日（月） 35日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

概要：鉄でつくられた恐竜骨格、館内に展示してある恐竜全身骨格と見比べてみてください。

会期中入場者数：89,723人

5) 干支展「卯（ウサギ）」

開催期間：令和4年12月17日（土）～令和5年1月22日（日） 37日間

会場：イントロホール

主催：豊橋市自然史博物館

共催：浜松市博物館

概要：令和4年の干支の動物「ウサギ」に因んだ生物や玩具・民俗資料などを展示。

会期中入場者数：56,231人

(3) トピック展示

1) ボランティアが発見した新種のハチ

開催期間：令和4年4月28日（木）～5月29日（日） 29日間

会場：自然史博物館自然史スクエア付近

概要：資料整理ボランティアが新種として発表したハチ2種の標本を展示。

会期中入場者数：113,253人

2) 総合動植物公園内で見られるカタツムリ

開催期間：令和4年6月2日（木）～7月14日（木） 37日間

会場：ミュージアムショップ横

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているカタツムリの実物の展示と「園内いきものガイド」の配布。

会期中入場者数：46,471人

3) 総合動植物公園内で見られるセミ

開催期間：令和4年7月15日（金）～令和5年3月31日（金） 249日間

会場：ミュージアムショップ横

概要：「園内いきものガイド」で紹介しているセミの実物の展示と「園内いきものガイド」の配布。

会期中入場者数：568,620人

4) 新鉱物「浅葱石」

開催期間：令和4年11月18日（金）～

令和5年1月22日(日) 54日間
 会場：イントロホール
 概要：愛知県から発見された新鉱物「浅葱石」を展示。
 会期中入場者数：88,383人

(4) 博物館のウラワザ

平成30年度の企画展で製作した博物館資料作製作業ブースを自然史スクエアに設置。月替わりで、分野ごとの資料作製作業を展示した。
 日時：土・日曜日(隔週) 13:30~14:30

月	分野
4~5月	岩石・鉱物
6~7月	昆虫
8月	貝類
9月	植物
10~11月	魚類
12月~令和5年1月	脊椎動物
2月	化石
3月	岩石・鉱物

(5) 大型映像

1) 上映状況

①上映期間 令和4年4月1日~6月19日

【通常上映】

「ダイナソーミュージアム」
 3D版・2D版(33分)

「南極大陸」2D版(38分)

【期間限定上映】(5/1~8)

ポケモン3Dアドベンチャー「ミューを探せ」

「ピカチュウの海底大冒険」
 3D版(27分)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
ダイナソーミュージアム3D版	800	400

ダイナソーミュージアム2D版	600	200
南極大陸2D版	500	200
ポケモン3Dアドベンチャー3D版	500	200

②上映期間 令和4年12月10日~令和5年2月28日

【通常上映】

「秘密の博物館」3D版(40分)

「新・恐竜大進撃」2D版(35分)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
秘密の博物館3D版	700	300
新・恐竜大進撃2D版	500	200

③上映期間 令和5年3月1日~令和5年3月31日

【通常上映】

「恐竜超世界」3D版・2D版(35分)

「海竜王モササウルス」2D版(38分)

【観覧料】

上映作品	大人(円)	小人(円)
恐竜超世界3D版	700	300
恐竜超世界2D版	500	200
海竜王モササウルス2D版	500	200

2) 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み

上映後の場内換気、肘掛のアルコール消毒、観覧者へのマスク着用のお願ひなどの取り組みを行った。

※観覧者へのマスク着用のお願ひについては、令和5年3月12日をもって終了。

令和4年度 大型映像観覧者数（上映回数は630回）

区 分	上映（開 場）日数	観覧者 総数 （人）	会期中の入館者 数（人）（※1）	観覧率	年間優待券 （購入）（円） （※2）	観覧料 （円）	
4/1～6/19	4月	27日間	4,391	63,565	6.9%	219,500	1,405,500
ダイナソーミュージアム 他2作品	5月	27日間	6,114	102,340	6.0%	190,500	1,958,000
	6月	17日間	2,059	31,951	6.4%	95,500	636,100
【大型映像】前期	小計	71日間	12,564	197,856	6.4%	505,500	3,999,600
12/10～2/28	12月	24日間	2,318	19,311	12.0%	120,500	560,300
秘密の博物館 他1作品	1月	26日間	4,257	50,787	8.4%	156,500	1,127,400
	2月	24日間	3,661	41,183	8.9%	124,500	938,220
3/1～3/31 恐竜超世界 他1作品	3月	28日間	4,963	61,994	8.0%	129,500	1,134,600
	【大型映像】後期	小計	102日間	15,199	173,275	8.8%	531,000
合 計		173日間	27,763	371,131	7.5%	1,036,500	7,760,120

※1 上映していない期間を除く

※2 特別企画展準備期間の年間優待券の売上は6月、終了後の売上は12月に含める

(6) 東三河ジオパーク構想事業

東三河には多くの特徴的な地形、地質が存在する。自然史博物館では、これらを保全・保護し、観光資源として生かす「ジオパーク」の認定を目指す活動に、新城市に事務局を置く「東三河ジオパーク構想推進準備会」を軸に、東三河8市町村と連携して取り組んできた。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、様々な活動を展開した。

推進準備会では、シンポジウム「自然災害はどこまで「想定」できるか(9月3日オンライン)」を開催。また、ジオツアーとして「初夏の奥三河淵・洸めぐり(7月2日)」、「海から知る! 渥美半島親子向けバスツアー(11月6日)」を開催した。

博物館独自の取り組みとしては、教育普及事業の一環としてジオツアーを3回開催し、推進準備会の一員として、ジオガイドの育成や情報収集・情報発信等に取り組んだ。

1) ジオツアーの開催

新たなジオのみどころの開発や、新規顧客の獲得を目的としたジオツアーを令和4年度は3回開催し、計46人が参加した。

ジオツアー①「地質と植物」

講師：稗田 真也(当館学芸員)、加藤千茶子(当館主任学芸員)

期日：令和4年5月28日(土)

場所：豊橋市、新城市

参加者：18人

内容：地面の下の地質と植物の関係を探る。

ジオツアー②「川原の石はどこから？」

講師：加藤千茶子(当館主任学芸員)、丹羽美春(当館学芸員)

期日：令和4年7月23日(土)

場所：新城市、設楽町ほか

参加者：15人

内容：豊川の川原に集まる石のルーツを探る。

ジオツアー③「東三河砂紀行」

講師：加藤千茶子(当館主任学芸員)

期日：令和5年1月28日(土)

場所：田原市、豊橋市

参加者：13人

内容：表浜の砂浜など身近な砂の世界を探る。

2) ジオパーク認定へ向けた情報収集・発信等

東三河ジオパーク構想推進準備会は、日本ジオパークネットワークの準会員として、全国大会や研修会等への出席や情報発信、ジオパークの認定申請などの継続的な情報収集を行っている。

令和4年度は、様々な大会や研修会等で2年振りに現地開催が復活した。また、中部ブロックの一員として、日本ジオパーク全国大会では、実行委員会学術・教育委員として口頭発表のコーディネーターを務めた。

①2022年度ユネスコ世界ジオパーク国内推薦申請、日本ジオパーク新規認定(エリア拡大)申請プレゼンテーション

期日：令和4年5月21日(日)

場所：千葉県幕張メッセ国際会議場

出席職員：浅野佳奈子、加藤千茶子

②日本ジオパーク全国大会白山手取川大会第2回実行委員会

期日：令和4年6月23日(木)

場所：ZOOMによるオンライン開催

出席委員：加藤千茶子

③第12回日本ジオパーク全国大会 白山手取川大会

期日：令和4年10月21日(金)～23日(日)

場所：石川県白山市

出席職員：加藤千茶子

④第17回日本ジオパークネットワーク全国研

修会 in 栗駒山麓

期日：令和4年11月21日(月)～23日(水)

場所：宮城県栗原市

出席職員：加藤千茶子

3) 東三河ジオパーク構想推進準備会

第1回

期日：令和4年5月18日(水)

場所：豊橋市役所

出席職員：坂本博一、浅野佳奈子、加藤千茶子

第2回

期日：令和4年8月26日(金)

場所：ZOOMによるオンライン開催

出席職員：坂本博一、浅野佳奈子、加藤千茶子

第3回

期日：令和4年10月28日(金)

場所：ZOOMによるオンライン開催

出席委員：坂本博一、浅野佳奈子、加藤千茶子

第4回

期日：令和5年1月27日(金)

場所：豊橋市役所

出席委員：坂本博一、浅野佳奈子、加藤千茶子

4) ジオ専門部会

第1回

期日：令和4年4月22日(金)

場所：新城市鳳来寺山自然科学博物館

出席委員：加藤千茶子

第2回

期日：令和4年5月20日(金)

場所：新城市役所

出席委員：加藤千茶子

第3回

期日：令和4年6月21日(火)

場所：田原市内(準備会主催ジオツアー下見)

出席委員：加藤千茶子

第4回

期日：令和4年8月2日(火)

場所：新城市役所

出席委員：加藤千茶子

第5回

期日：令和4年9月28日(水)

場所：新城市役所

出席委員：加藤千茶子

第6回

期日：令和4年10月27日(木)

場所：新城市勤労青少年ホーム

出席委員：加藤千茶子

第7回

期日：令和4年12月16日(金)

場所：新城市役所

出席委員：加藤千茶子

第8回

期日：令和5年2月9日(木)

場所：新城市役所

出席委員：加藤千茶子

5) 事務局会議

開催期日：令和4年4月27日、8月5日

開催場所：豊橋市役所

出席職員：坂本博一、浅野佳奈子、加藤千茶子

6) ジオガイド運営委員会

開催期日：令和4年4月9日(上級救命講習)、

4月15日、5月15日(総会・地区別研修)、6月17日、8月19日、9

月 16 日、10 月 14 日、11 月 26 日
(全体研修) 12 月 16 日、令和 5 年
1 月 20 日、3 月 17 日

開催場所：新城市鳳来寺山自然科学博物館及び
新城市役所等

出席職員：加藤千茶子

(7) ワークショップ・展示解説会など

地学や生物学などの自然科学に親しみ基本的な知識が得られる入門講座として、開館時から毎年開催している。令和 4 年度は、ワークショップ、解説会、収蔵庫見学会、名古屋大学出前授業等を開催した。

1) 講演会

①浅葱石と最近のいくつかの新鉱物

講 師：浜根大輔（東京大学物性研究所 技術専門職員）

期 日：令和 4 年 12 月 11 日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：50 人

内 容：浜根らのグループから愛知県産の新鉱物「浅葱石」が自然史博物館に寄贈されたことに伴い、講演会を開催した。

2) ワークショップ

①潮干狩りで生きものを探そう

講 師：西 浩孝（当館主任学芸員）

期 日：令和 4 年 5 月 14 日（土）

場 所：前芝海岸

参加者：22 人

内 容：干潟で見られる生きものを観察し、生態系について学んだ。



②今日は「虫の日」むしとあそぼう

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

期 日：令和 4 年 6 月 4 日（土）

場 所：自然史博物館

参加者：130 人

内 容：シロアリや風船虫などの昆虫の行動を利用して遊んだ。



③砂の中から微小貝を探そう

講 師：西 浩孝（当館主任学芸員）

期 日：令和 4 年 7 月 22 日（金）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：30 人

内 容：貝殻の入った砂の中から小さな貝を探した。



④外来魚調査隊

講 師：坂本博一（当館館長）
 期 日：令和4年7月28日（木）
 場 所：向山大池
 参加者：27人
 内 容：ため池で外来魚調査を行い、見分け方や問題点について学んだ。



⑤ティラノサウルスの歯を作ろう！

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）
 期 日：令和4年8月2日（火）、8月3日（水）
 場 所：自然史博物館 講堂
 参加者：各日、11人、13人
 内 容：ティラノサウルスの歯のレプリカを作製した。

⑥チリモン探し体験

講 師：坂本博一（当館館長）
 期 日：令和4年8月4日（木）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：53人

内 容：シラスに混じって漁獲された小さな生きものを探した。

⑦小さな鉱物をしらべてみよう

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）

期 日：令和4年8月7日（日）

場 所：自然史博物館 学習室1・講堂

参加者：11人

内 容：砂レキ中の鉱物を取り出し、実験等を交えつつ石の調べ方を学んだ。

3) 解説会

学芸員がそれぞれの専門分野について、博物館内で行う解説会。申込不要で参加無料。令和4年度は4回開催し、339人が参加した。

①すきまに生える植物入門

講 師：稗田真也（当館学芸員）

期 日：令和4年4月3日（日）

場 所：自然史博物館前

参加者：4人

内 容：博物館前の舗装の隙間に生える植物について解説。



②地球は宝石でできているの？

講 師：丹羽美春（当館学芸員）

期 日：令和4年9月4日（日）

場 所：自然史博物館

参加者：60人

内 容：カンラン石の色々な特徴を紹介。



③ダンゴムシのふしぎ

講 師：西 浩孝（当館主任学芸員）

期 日：令和4年10月2日（日）

場 所：自然史博物館

参加者：125人

内 容：ダンゴムシの生態や面白い行動を紹介。



④スズメバチの巣を解体してみよう

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

期 日：令和4年11月27日（日）

場 所：自然史博物館

参加者：150人

内 容：スズメバチの巣を解体して巣のしくみを観察。



4) 収蔵庫見学会

収蔵庫に保管されている博物館資料についてテーマ別に担当学芸員が案内。令和4年度は5回開催し、110人が参加した。

①骨・歯

講 師：安井謙介（当館主任学芸員）

期 日：令和4年4月17日（日）

参加者：27人



②魚類

講 師：坂本博一（当館館長）

期 日：令和4年10月8日（土）

参加者：8人

③植物

講 師：稗田真也（当館学芸員）

期 日：令和4年12月4日（日）

参加者：28人



④昆虫

講 師：長谷川道明（当館学芸専門員）

期 日：令和4年12月24日（土）

参加者：17人



⑤岩石・鉱物

講 師：加藤千茶子（当館主任学芸員）

期 日：令和5年2月11日（土）

参加者：30人

5) 名古屋大学出前授業 in 豊橋 2022

平成26年度からあいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク事業として、名古屋大学が取り組む第一線研究について紹介するサイエンス・トーク「名古屋大学出前授業 in 豊橋」を開催している。令和4年度は3回開催し、97人が受講した。

①西之島火山 —その謎に海と空から迫る—

講 師：市原 寛（名古屋大学大学院環境学
研究科 講師）

期 日：令和4年11月20日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：40人

内 容：拡大を続ける西之島についてドローンをを用いた観測や地球科学分野の最新の研究成果などを紹介。



②ウイルスを運ぶコウモリは「ワルもの」？

講 師：本道栄一（名古屋大学大学院生命農
学研究科 教授）

期 日：令和4年11月26日（土）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：27人

内 容：コウモリが運ぶウイルスや生態について最新の研究を紹介。



③共に生きる虫と菌 —木や森との関係—

講 師：梶村 恒（名古屋大学大学院生命農学
研究科 准教授）

期 日：令和4年12月25日（日）

場 所：自然史博物館 講堂

参加者：30人

内 容：カビを栽培して食べる養菌性キクイムシの生態を中心に、昆虫と菌類の共生や穿孔性昆虫の多様性について紹介。



6) JR ワークショップ

JR 東海ツアーズと協働し、旅のコンテンツポータルで体験型旅行プランを造成した。

①チリモンコレクターをめざそう！ in 豊橋市自然史博物館

講 師：坂本博一（当館館長）

期 日：令和4年7月9日（土）、8月11日（木・祝）、10月9日（日）

場 所：自然史博物館

参加者：17人

内 容：シラスに混じって漁獲された小さな生きものを探した。また、収蔵庫見学も行った。

②太古の時代にタイムスリップ！化石クリーニング体験 三葉虫 ver. in 豊橋自然史博物館

講 師：一田昌宏（当館学芸員）

期 日：令和4年11月12日（土）、13日（日）、12月24日（土）、25日（日）、令和5年1月7日（土）、21日（土）、2月18日（土）、19日（日）、23日（木・祝）、3月4日（土）、5日（日）

場 所：自然史博物館

参加者：130人

内 容：三葉虫の化石のクリーニングを体験した。

7) スポット音読

自然史に関する絵本の読み聞かせを行った。

期 日：令和4年4月16日（土）、5月28日（土）、7月10日（日）、8月28日（日）、9月24日（土）、11月20日（日）、12月17日（土）、令和5年1月28日（土）、2月25日（土）、3月25日（土）

回 数：18回

参加者：354人

(8) 総合動植物公園関連イベント

1) ナイトZOO

のんほいパークのナイトZOOの開催に合わせ、常設展及び特別企画展の夜間観覧を行った。

開催期日：7月22日（金・祝）～24日（日）、29日（金）～31日（日）、8月の金・土・日・祝日及びお盆期間（8月9日（火）～15日（月））、9月の土・日・祝日（8月12日、13日、9月17日、18日、19日、23日は中止）

開催時間：午後5時～午後9時

日中の開館時間：午前9時～午後4時

①特別企画展「ポケモン化石博物館」

ナイトZOOでも特別企画展を観覧できるようにした。

ナイトZOO期間中の特別企画展観覧者（人）

	大人	小・中学生	無料	計
7月	1191	539	414	2144
8月	3479	1737	1221	6437
9月	1589	640	551	2780
計	6259	2916	2186	11361

2) キャンパス DAY

学生の春休み・卒業シーズンに合わせ、学生は豊橋総合動植物公園入園無料、大型映像観覧

無料にした。

期間：2023年3月1日(水)～3月31日(金)

対象：大学生(大学院生)、短大生、各種専門学生、高校生

キャンパス DAY 大型映像観覧者：242人

(9) 第18回自然史博物館自由研究展

生物や地学をテーマにした市内の小・中学生の優れた自由研究作品を表彰・展示するため、平成17年度から開催。賞の選考は、児童・生徒が夏休みの課題として学校に提出した自由研究の中から優秀作品を各校が選出(学校規模により各校3～4点)。それを自然史博物館の学芸員と市内小中学校教員から構成される研究委員会の審査により各賞を選考する。

開催期間：令和4年11月12日(土)～12月4日(日)

表彰式・優秀作品発表会：令和4年11月19日(土)10:00～11:00

会場：イントロホール、自然史スクエア他
応募総数：183点(小学校50校135点、中学校20校48)点

※市内小中学校各校から3点以内を選抜して応募。ただし小学校24クラス以上、中学校18クラス以上の場合は4作品以内とした。

<入賞作品>

○最優秀賞

【小学生】

岩西小学校2年 吉岡慶真

「セミのせい虫はどれくらい生きられるか」

【中学生】

二川中学校3年 石川春果

「シロツメクサの植物ホルモン」

○優秀賞

【小学生】

向山小学校5年 中西輝

「重力場が植物の成長に及ぼす影響」

芦原小学校6年 稲田凌

「オカヤドカリIV オカヤドカリが秘めている能力とは?からだの構造は?」

【中学生】

豊岡中学校1年 鈴木朱音

「アリの研究 Part 5」

南陽中学校3年 伊奈稜一郎

「ニホンイシガメの生態と保全“6年間の集大成”」

○奨励賞

【小学生】

栄小学校5年 松尾篤樹

「カタバミの観察2～カタバミはどこで切っても、分身・再生はできるのか?～」

牛川小学校4年 平尾知士

「イモムシの観察 Part 2 ナミアゲハのさなぎの色の変化について」

松葉小学校5年 伊藤優風

「水耕栽培 発芽・成長に最適な環境をさぐれ～10ヵ月間の全記録～」

旭小学校5年 古田純希

「セミの不思議5」

栄小学校4年 浅野貴嗣

「カブトムシのよう室ぐらしーカブトムシの土のにおいの正体ー」

高根小学校4年 吉田詩野

「ダンゴムシ迷路大実験」

八町小学校3年 渥美竹尋

「いろいろな場所へ行って砂鉄のりを調べよう」

【中学生】

青陵中学校3年 森田圭

「ミニトンボ池」を造ってみたら! Part 3」

○入選

【小学生】

鷹丘小学校6年 村田愛莉

「植物の気孔調べ」

石巻小学校 6年 一木暖友
「住宅に飛んでくるクワガタ、カブトムシの数 part 2 (2022年)」

二川南小学校 6年 紅林1琉奈
「ナミアゲハの幼虫はどこでものぼれるの？」

老津小学校 6年 白谷瑠皇
「豊橋の化石調査」

鷹丘小学校 5年 中島淳貴
「セミ時計は使えるか」

飯村小学校 5年 中戸川結月
「毎日水やりは必要？」

旭小学校 5年 古田真志
「アゲハの研究3」

玉川小学校 3年 大竹那奈
「指がしわしわになるまでにかかる時間は？」

【中学生】

羽田中学校 3年 市川ひとみ
「アリの研究」

吉田方中学校 2年 加藤綾菜
「汐川干潟の研究」

中部中学校 3年 内藤宏次朗
「菌はどうすれば弱体化するのか？」

南陽中学校 3年 内藤悠斗
「根や葉の働き方研究 Part 4」

南陽中学校 3年 杉林結心
「マスク着用時の体の中の変化と作業効率についての実験」

中部中学校 2年 川中美空
「シダ植物」

(10) 自由研究相談

開催期間：夏休み期間
内 容：事前申込みを受けた小・中学生を対象に担当分野の学芸員が自由研究のテーマや方法について指導。
参加者：25件55人

(内訳)

分野	件数	人数
化石	4	9
岩石	4	9
昆虫	4	7
貝類	1	4
魚類	4	7
脊椎動物	4	10
その他	2	7
テーマ未定	1	2
計※	25	55

※複数分野にまたがる質問があったため、集計すると実際の件数、人数より多くなっている。

(11) 市民からの質問等対応

自然史博物館では、来館、電話、メール等による市民からの質問等について学芸員が対応している。令和4年度の内訳は以下のとおり。

分野	件数	備考
化石	1	
地質岩石	11	
昆虫	4	
貝類	15	
魚類	1	
脊椎動物	9	
植物	2	
その他	2	甲殻類、川で見つけた透明な粒子
計	45	

(12) 小中高等学校等の学習支援

1) 標本貸出セット

自然史博物館では、平成16年度から「標本貸出セット」を整備し、学校等への貸出を行っている。内容は、以下の5つで、それぞれラベルや解説などの資料も添付している。館外貸出は原則、市内小中学校とし、館内での利用は子どもを主体とする1クラス程度までの団体としている。また、学芸員が行う出前授業などにも

積極的に利用している。令和4年度の館外貸出は10回1,748人、館内利用は10回682人であった。

化石：古生代から新生代の化石(10セット)、化石レプリカ製作用型4種(20セット)
脊椎動物：肉食と草食動物の頭骨標本3種(10セット)、ネコ全身骨格標本(1セット)

ト)、動物の歯レプリカ製作用型(20セット)

ドングリ：ブナ科植物6種のさく葉および堅果標本

昆虫：昆虫標本3種(5セット)、国語の教科書に登場する昆虫(3セット)

岩石：東三河地域の堆積岩10種(10セット)、豊川流域の岩石10種(5セット)、火山灰観察セット(1セット)

標本貸出セット実績① 館外貸出

期間	利用者	内容	人数
5/24～5/27	豊城中学校	頭骨セット(ネコ・ウサギ・ヌートリア)	122
5/28～6/7	南陽中学校	頭骨標本(ネコ、ウサギ)、ネコ全身骨格	150
6/1～6/12	南稜中学校	頭骨標本(ネコ、ウサギ)	210
6/8～6/15	中部中学校	頭骨セット(ネコ・ウサギ・ヌートリア)	238
8/2～8/8	まちなか図書館	化石レプリカ製作用型(アンモナイト)	20
1/15～1/22	青陵中学校	火山灰セット、豊川流域の岩石類	200
1/31～2/7	中部中学校	火山灰セット	238
2/15～3/1	豊岡中学校	古生代から新生代の化石	180
3/7～3/15	南稜中学校	化石レプリカ製作用型(三葉虫・アンモナイト)	210
3/8～3/17	豊岡中学校	古生代から新生代の化石	180

標本貸出セット実績② 館内利用(出前授業など学芸員が館外で解説に使用したものも含む)

期日	利用者	内容	人数
7月5日	名古屋芸術大学	頭骨セット(ネコ、ウサギ)	30
7月12日	名古屋芸術大学	頭骨セット(ネコ、ウサギ)	30
11月22日	豊南小学校	豊川流域の岩石類	20
12月2日	羽根井小学校	豊川流域の岩石類	87
11月8日	杉山小学校	東三河の堆積岩、火山灰	46
12月6日	細谷小学校	東三河の堆積岩、火山灰	17
12月9日	中野小学校	東三河の堆積岩、火山灰	74
2月8日	二川中学校	化石セット	132
2月10日	二川中学校	化石セット	66
2月15日	豊岡中学校	化石セット	180

2) 職場体験学習等

中学校2年生を対象に行われる職業体験学習

として3校から3人を受入れた。博物館の業務概要及び学芸員の仕事について説明した。

期間	学校名	人数
6/7～6/9	豊橋市市立本郷中学校	1
10/20～ 10/21	豊橋市市立南部中学校	1
11/2	豊橋市市立豊城中学校	1

一環で、当館の見学が選択として取り入れられている。見学にあたっては、各学校で計画をたて、学習の観点をもって実施している。常設展見学のほか、希望により大型映像、特別企画展の観覧、収蔵庫・標本処理室等の学芸員による案内も行っている。

3) わくわく体験活動

市内の小・中学校が、教育委員会の計画に基づいて行っている学習（小学校4年生対象）の

- ・参加校数：2校
- ・参加児童数：256人

4) 高等学校・大学等の学習利用

期日	利用者	内容等	人数
5/18	ルネサンス・ペットアカデミー	骨格標本や各生体の違いについて	p
5/31	豊橋中央高校	自然界における昆虫の役割と現状	29
7/28	名古屋市立向陽高校	スーパーサイエンススクール連携講座	23
9/9	名古屋大学理学部地球惑星学科	名古屋大学学外セミナー	8

5) 授業・学習支援センターへの協力

子どもたちの調べ学習や教師の授業づくりをサポートするために市教育委員会学校教育課が設置している「授業・学習支援センター」の活動に協力した。自然史博物館内にも、自然科学関連の書籍が充実した図書コーナー「山福文庫」が設置されており、配架図書の選定に協力した。

(13) 博物館実習生等の受入れ

1) 令和4年度博物館実習

①実習生（10人）

- 平野 快（三重大学）
- 黄木 敬（広島大学）
- 高橋 佳宏（中部大学）
- 福岡 由那（愛知県立芸術大学）
- 浅井 謙志（宮崎大学）
- 後藤 佳奈子（日本大学）
- 大羽 瑠偉（名古屋芸術大学）
- 村田 七々帆（琉球大学）
- 香山 智昭（東海大学）
- 近藤 隆史（岡山理科大学）

②実習内容・日程

期日	内容
7/29	オリエンテーション、博物館展示概論、館内展示レクチャー、博物館資料保存概論
7/30	ワークショップ準備・補助、来館者動線調査準備・調査、昆虫実習
7/31	来館者動線調査、貝類実習
8/2	ワークショップ準備・補助、植物実習、岩石実習
8/3	ワークショップ準備・補助、植物実習、岩石実習
8/4	ワークショップ準備・補助
8/5	来館者動線調査・まとめ・発表

2) 大学の博物館学関連実習等

①東海大学

- 期 日：令和4年11月4日（金）
- 内 容：博物館見学実習

参加者：15人

(14) 研修等の受入れ

1) インターンシップ

①氏名：島村伊織

所属：愛知大学文学部3年

期間：令和4年8月15日(月)～19日(金)

②氏名：山本莉子

所属：愛知学院大学総合政策部3年

期間：令和4年8月15日(月)～19日(金)

③氏名：佐野和奏

所属：駒澤大学仏教学部3年

期間：令和4年8月20日(土)～25日(木)

④氏名：青山奏子

所属：金城学院大学文学部3年

期間：令和4年8月20日(土)～25日(木)

⑤氏名：末廣朱里

所属：京都橘大学健康科学部3年

期間：令和4年8月26日(金)～31日(水)

⑥氏名：大久保太貴

所属：名古屋大学農学部3年

期間：令和4年8月26日(金)～31日(水)

⑦氏名：太澤篤也

所属：愛知淑徳大学心理学部3年

期間：令和4年9月1日(木)～6日(火)

⑧氏名：太田梨央

所属：中央大学現代社会学部3年

期間：令和4年9月7日(水)～11日(日)

⑨氏名：嶋津愛彩

所属：名古屋学芸大学ヒューマンケア学部3年

期間：令和4年9月7日(水)～11日(日)

(15) 出版活動

令和4年度に自然史博物館が刊行した出版物は以下のとおりである。

書名・名称	版・頁	部数	発行年月日	配布先	内容等
豊橋市自然史博物館年報第34号	A4 70 頁	—	4.7.13	ホームページ PDF 公開	年間活動報告
豊橋市自然史博物館研究報告 第33号 (ISSN 0917-1703)	A4 56 頁	600	5.3.28	関係機関	研究報告・論文

(16) 連携・共催事業等

1) 名古屋芸術大学との連携協定

平成26年度に名古屋芸術大学と締結した連携協定に基づき、令和4年度は下記の連携事業を行った。

①博物館職員による講義

- ・小学校教員養成系科目での講義 I
期 日：令和4年7月5日(火)・12日(火)
場 所：名古屋芸術大学
講 師：安井謙介
- ・小学校教員養成系科目での講義 II
期 日：令和4年12月20日(火)
場 所：名古屋芸術大学
講 師：安井謙介

2) あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク

主催：国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部
※東海地方の大学、研究機関、博物館27機関が参加(2022年12月現在)

- ・夏休みあいちサイエンスフェスティバル2022 期間中(令和4年7月21日～8月31日)の自然史博物館行事を参加イベントとして登録
- ・あいちサイエンスフェスティバル2022 期間中(令和4年9月23日～11月20日)の自然史博物館行事を参加イベントとして登録
- ・「名古屋大学出前授業 in 豊橋」の開催(科学教育センターと共同開催)

3) 企画展「干支展 卯」

協力：浜松市博物館

会場及び展示期間：

- ・豊橋市自然史博物館
令和4年12月17日(土)～令和5年1月22日(日)
- ・浜松市博物館
令和5年1月28日(土)～3月5日(日)

4) とよはし科学月間

11月を「とよはし科学月間」として、本市の科学教育関連施設、大学が連携して、この期間に開催される各施設の科学に関する様々な普及イベントを連携してPRし、本市の科学教育の推進に努めた。

参加施設：豊橋市自然史博物館、豊橋市視聴覚教育センター・地下資源館、こども未来館
ここに、豊橋技術科学大学
期間中の実施イベント：
自然史博物館自由研究展、子どものための科学展など32件

5) AEL ネット環境学習スタンプラリー

主 催：愛知県環境学習施設等連絡協議会
開催期間：令和4年6月21日(火)～令和5年2月23日(祝・木)
内 容：来館者がスタンプを押すスタンプラリーを実施。

(17) 講師・委員の派遣等

1) 出前授業

原則として市内の小・中学生を対象に、学校

からの要請を受け、学芸員を派遣し授業を行っている。令和4年度はのべ17校で40時限実施し、1,092人が受講した。

令和4年度出前授業の実施状況（時間延長した授業も1時限として集計）

No	学校名	学年	人数	タイトル	時限数	実施日	担当学芸員
1	桜丘中学校	1	88	絶滅の恐れがある愛知県の動物について	2	5/19	長谷川
2	高師小学校	3	29	「希望の池」をぼくたちの宝物にしよう	1	7/11	坂本
3	西郷小学校	2	13	ダンゴムシの飼い方	1	9/21	西
4	飯村小学校	1	110	身近な昆虫の観察	3	9/27	長谷川
5	磯辺小学校	4	78	動物のからだのつくりとはたらき	3	10/19	安井
6	杉山小学校	1・2	61	秋の虫を見つけよう	2	10/21	長谷川
7	杉山小学校	6	46	大地をつくる石のはなし	2	11/8	加藤
8	西郷小学校	4	19	ヒトの体のつくりとはたらき	1	11/8	安井
9	豊南小学校	6	20	デジタルコンテンツ実証実験 豊橋と愛知の土地を見てみよう	1	11/12	丹羽
10	石巻小学校	4	48	石巻山生き物探検隊～石巻山に住むマイマイについて調べよう～	3	11/18	西
11	羽根井小学校	6	86	デジタルコンテンツ実証実験 豊橋と愛知の土地を見てみよう	1	12/2	丹羽
12	細谷小学校	6	17	火山のはたらきと地層のでき方の関係	1	12/9	加藤
13	中野小学校	6	74	土地のつくりと変化	2	12/9	加藤
14	松葉小学校	4～6	25	自然観察～松葉小学校、守下公園の自然～	2	1/25	長谷川
15	豊岡中学校	1	180	化石の話（生命と地球の共進化）	6	2/15	一田
16	二川中学校	1	132	化石の話（生命と地球の共進化）	4	2/8	一田
17	二川中学校	1	66	化石の話（生命と地球の共進化）	2	2/10	一田

2) 講義・講演

No	タイトル	依頼元	期日	人数	担当学芸員
1	自然界における昆虫の役割と現状	豊橋中央高校	5/18	6	長谷川
2	干潟観察会	セキスイハイム工業	5/29	18	西
3	骨格標本や各生体の違いについて	ルネサンス・ペットアカデミー	5/31	29	安井

4	講演会・ホテル観察会	西郷小学校	5/31	60	長谷川
5	カタツムリの観察	豊川市赤塚山公園	6/19	39	西
6	東三河ジオパーク構想推進準備会主催ジオツアー	東三河ジオパーク構想推進準備会	7/2	19	加藤
7	名古屋芸術大学講義	名古屋芸術大学	7/5	30	安井
8	名古屋芸術大学講義	名古屋芸術大学	7/12	30	安井
9	「ポケモン化石博物館」で化石を学ぼう	教育会館	7/19	15,000	一田
10	教職員研修講座	学校教育課	7/27	62	長谷川
11	カタツムリの宝庫！豊橋	高師台地区市民館	7/28	10	西
12	スーパーサイエンススクール連携講座	名古屋市立向陽高校	7/28	23	安井
13	リレートーク第3弾「化石研究の最前線」	中央図書館	7/31	17	一田
14	ワークショップ これであなとも化石博士～アンモナイト編～	中央図書館	7/31	15	一田
15	トークイベント「出張！博物館のウラワザ 化石 ver」	まちなか図書館	8/21	40	一田
16	ワークショップ これであなとも化石博士～三葉虫編～	まちなか図書館	8/21	15	一田
17	教職員研修講座	学校教育課	8/23	44	長谷川
18	名古屋大学学外セミナー	名古屋大学理学部地球惑星科学科	9/9	8	丹羽・一田
19	魅力たっぷり！学芸員のお仕事とは？	地域イノベーション推進室	9/15	7	一田
20	地球は昆虫であふれている	小牧市教育委員会	9/22	30	長谷川
21	豊橋市天然うなぎモニタリング調査(章南中学校 生徒に対する現地講座)	豊橋市天然うなぎ資源保護再生プロジェクト協議会	10/21	80	坂本・西
22	東三河ジオパーク構想推進準備会主催ジオツアー	東三河ジオパーク構想推進準備会	11/6	8	加藤
23	フィールド生態学基礎実習	人間環境大学	12/18	68	長谷川・稗田
24	名古屋芸術大学講義	名古屋芸術大学	12/20	9	安井
25	市民大学トラム 知られざるニホンオオカミを探る	南陵地区市民館	1/15	28	安井
26	市民大学トラム 大切にしたい！汝川干潟の生き物たち	南陵地区市民館	1/22	28	西

27	市民大学トラム 侵略的外来種の驚くべき実態	南陵地区市民館	1/29	27	稗田
----	-----------------------	---------	------	----	----

3) 委員等の委嘱、派遣等

①科学教育推進委員会

委員：長谷川道明

期 日：令和4年5月11日（水）、
令和4年6月17日（金）、
令和4年9月9日（金）、
令和4年12月2日（金）

場 所：視聴覚教育センター

②あいちサイエンスフェスティバル 2023 実行委員会

委員：丹羽美春

期 日：令和4年6月3日（金）、
令和5年2月22日（水）

形 態：リモート会議

③浜松湖西豊橋道路環境影響評価技術検討委員会

委員：長谷川道明

期 日：令和4年7月11日（月）

場 所：湖西市内・豊橋市内

(18) ふるさと寄附体験型返礼品

豊橋市が行っている、ふるさと寄附の体験型返礼品として、自然史博物館では、令和元年より「化石クリーニング体験」「ジオードクラック体験」を実施している。令和4年度の申込数、実施数は以下の通り。

1) 化石の調査研究を体験

「化石クリーニング体験」

内容：専用の機器を使って、三葉虫などの化石を岩石の中から取り出す作業、クリーニングを学芸員とともに実施。クリーニングした化石は持ち帰ることができる。

※R4年度受入可能数：10

※体験チケットの有効期限は1年

令和4年度申込数：10

令和4年度実施数：8

2) 鉱物の調査研究を体験

「ジオードクラック体験」

内容：専用の機器を使って、学芸員の指導の下、ジオード（晶洞）を割って、中に形成された水晶を取り出す体験。晶洞は持ち帰ることができる。

※R4年度受入可能数：10

※体験チケットの有効期限は1年

令和4年度申込数：9

令和4年度実施数：8

(19) VR博物館

「Urban Innovation TOYOHASHI※」

事業として自然史博物館、株式会社TAGRU、産業部地域イノベーション推進及び株式会社サイエンス・クリエイトが協働で課題解決を試みた。

担当：長谷川道明、丹羽美春

※社会・地域課題を柔軟な発想とすぐれた技術をもつスタートアップと地域の実情に詳しい市職員が協働で課題解決に資するプロダクトの開発・実装を目指すプロジェクト)

1) 課題

「自然史博物館を使って、科学を楽しく学べるデジタルコンテンツを制作したい!!」

2) 成果物

自然史博物館が持つ豊富な標本と専門的な知識を活用して、授業でも使用でき

るデジタルコンテンツ（QuestNote、VR博物館）を制作し、身近な自然を通して子どもたちに楽しく理科を学んでもらった

QuestNote：小学6年生の理科の単元「土地の
つくりと変化」

VR博物館：郷土の自然展示室の一部

3) 実証実験

①期 日：令和4年11月22日（火）

場 所：豊橋市立豊南小学校

参加者：6年生 20人

講 師：丹羽美春、保木井伸佳

内 容：QuestNote、VR博物館（ドーム型
スクリーン）、実物標本

②期 日：令和4年12月2日（金）

場 所：豊橋市立羽根井小学校

参加者：6年生 86人

講 師：丹羽美春、保木井伸佳

内 容：QuestNote、VR博物館（QuestNote
内）、実物標本

③市内52校の小学校のうち希望する6年生に学校や自宅等で利用してもらい、活用してもらった

3. 学会誘致活動

(1) 日本動物考古学会

日本動物考古学会の総会・研究発表・普及講演会「貝塚から探る昔の自然と人びとの暮らし」を開催した。

期日：令和4年6月25日（土）研究発表・総会

令和4年6月26日（日）研究発表・普及講演会

令和4年6月27日（月）エクスカーション

内容：口頭発表（18件）、ポスター発表（10件）、普及講演会（105人）、エクスカーション（豊橋コース4人、田原コース11人）

大会出席者：156人

主催：日本動物考古学会

共催：豊橋市教育委員会

関連行事：学会員対象のバックヤードツアー（16人）、ニホンオオカミ頭骨の展示（6/25～26）

4. 調査研究活動

(1) 学芸員の論文業績等

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

坂本博一 (館長：魚類)

調査研究の主なテーマ

・三河地方の魚類相

令和4年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市内のため池におけるブルーギルの定着と在来種への影響について
- ・豊橋市内ため池における魚類生息状況
- ・愛知県で水揚げされる板鰓類
- ・愛知県近海産の深海性魚類
- ・東三河沿岸における魚類仔稚魚の食性

1) 論文

(査読なし)

- ①西 浩孝・坂本博一・松岡敬二, 2023. 豊橋市の西池と大口池で確認された淡水動物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (33): 39-47.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

なし

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

なし

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

なし

長谷川道明 (学芸専門員：昆虫)

調査研究の主なテーマ

- ・日本産カミキリムシの種分化と系統
- ・東海地方の昆虫相
- ・昆虫類の普及・教育活動・日本産カミキリムシの種分化と系統

令和4年度の調査研究テーマ

- ・ツシマゴマフチビカミキリの属所属について
- ・紀伊半島で得られた *Mesosella* 属の不明種
- ・*Asaperda* 属の分類学的再検討

・愛知県のエンマムシ科甲虫について

1) 論文

(査読有)

- ①Han, C. and Hasegawa, M, 2023. Notes on the Genus *Exocentrus* Dejean from the Democratic People's Republic of Korea with a New Species, a New Record and Additional Records of Known Species (Coleoptera, Cerambycidae, Lamiinae, Exocentrini). *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 28 (2): 284-289.

2) 普及書等

- ①長谷川道明, 2023. 学術情報過程の開設40年に寄せて. 東京農業大学学術情報過程40年の歩み, p.51.
- ②長谷川道明, 2023. 大平仁夫先生を偲んで. 昆虫DNA研究会ニュースレター, (38): 29-31.

3) 学会発表等

- ①長谷川道明・山迫淳介. *Mesosella* 属の分類学再検討 (予報). 日本甲虫学会名古屋例会 (2023.3.12、四日市市)

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

- ①日本甲虫学会2022年度年次大会
期日：令和4年12月10日(土)・11日(日)
場所：オンライン開催

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

なし

加藤千茶子 (主任学芸員：岩石・鉱物)

調査研究の主なテーマ

- ・郷土の鉱物岩石相
- ・東三河ジオパーク構想に関する普及事業の開発

令和4年度の調査研究テーマ

- ・豊川流域の岩石分布について
- ・東三河地域のジオサイト候補地調査及びカルテの作成
- ・ジオサイト候補地及びジオパーク構想の普及

事業の開発

- ・高校やジオガイドと連携したジオパーク教育プログラムの開発

1) 論文

なし

2) 普及書等

- ①加藤千茶子, 2022. 趣旨説明. シンポジウム「自然災害はどこまで「想定」できるか」報告書, 2, 東三河ジオパーク構想推進準備会.

3) 学会発表等

なし

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

なし

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

なし

安井謙介 (主任学芸員：脊椎動物)

調査研究の主なテーマ

- ・日本列島の哺乳動物相の変遷史
- ・豊橋周辺の遺跡産出動物遺体の動物考古学的研究
- ・現生脊椎動物の比較形態学的研究
- ・ストランディング及び海洋漂着物に関する研究
- ・展示・教育普及活動のオリジナルプログラム開発

令和4年度の調査研究テーマ

- ・豊橋市周辺から産出する更新世哺乳類化石について
- ・蜆塚貝塚産出の動物遺体について
- ・渥美半島にストランディングする脊椎動物に関する基礎的調査
- ・日本沿岸の漂着物の動向に関する基礎的研究
- ・東三河地方で得られた脊椎動物資料に関する市民への情報発信
- ・モロッコ産恐竜化石発掘調査とその展示に向けての基礎的研究

1) 論文

なし

2) 普及書等

- ①安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (89)「ニワトリ」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 565 : 5.
- ②安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (90)「待ちに待った開催」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 566 : 5.
- ③安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (91)「懐かしの味」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 567 : 5.
- ④安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (92)「オンラインも良いけれど」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 568 : 5.
- ⑤安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (93)「夏だからこそ」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 569 : 5.
- ⑥安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (94)「次に向けて」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 570 : 5.
- ⑦安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (95)「予定は無いが・・・」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 571 : 5.
- ⑧安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (96)「ニッチな雑誌」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 572 : 5.
- ⑨安井謙介, 2022. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (97)「今シーズンもついに」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 573 : 5.
- ⑩安井謙介, 2023. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (98)「新年の御挨拶」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 574 : 5.
- ⑪安井謙介, 2023. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (99)「小型といえども」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 575 : 5.
- ⑫安井謙介, 2023. 或る博物館学芸員のたわい無い話 (100)「玄関先での出来事」. このはずく (東三河野鳥同好会会報), 576 : 5.
- ⑬安井謙介, 2023. 日本動物考古学会第9回大会報告. 動物考古学研究, 40 : 53-57.

3) 学会発表等

- ①安井謙介・石黒直隆・木谷良平・神戸 敦, 2022.
愛知県豊川市の旧家で保管されてきたニホンオオカミの頭骨について. 口頭発表. 日本動物考古学会第9回大会. 6月25-26日, 豊橋市自然史博物館.
- ②安井謙介・石黒直隆・木谷良平・神戸 敦, 2022.
愛知県豊川市の旧家で保管されてきたニホンオオカミの頭骨について. 口頭発表. 近畿古脊椎動物学ゼミ. 3月1日, 京都大学.
(同好会等での発表)
- ③安井謙介, 2023. 渥美半島に漂着した海鳥. 口頭発表. 東三河野鳥同好会普及講演会. 1月7日, 豊橋市自然史博物館.

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

- ①日本動物分類学会第57回大会,
期日: 令和4年6月4日(土)・5日(日)
場所: オンライン開催
- ②日本動物考古学会第9回大会,
期日: 令和4年6月25日(土)・26日(日)
場所: 豊橋市自然史博物館
- ③近畿古脊椎動物学ゼミ.
期日: 令和5年3月1日(水)
場所: 京都大学

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

- ①令和5年度特別企画展準備調査
期日: 令和4年5月16日(月)~18日(水)
場所: 大阪市(大阪市立自然史博物館ほか)
- ②令和5年度特別企画展準備調査
期日: 令和4年6月15日(水)
場所: 東京(日本鯨類研究所)
- ③令和5年度特別企画展準備調査
期日: 令和4年7月19日(火)~22日(金)
場所: つくば市(国立科学博物館)・小田原市(神奈川県立生命の星地球博物館)
- ④令和5年度特別企画展準備調査
期日: 令和4年7月27日(水)
場所: 津市(三重県立総合博物館)

- ⑤令和5年度特別企画展準備調査

期日: 令和4年8月9日(火)
場所: 東京(日本鯨類研究所)

- ⑥令和5年度特別企画展準備調査

期日: 令和4年8月17日(水)~18日(木)
場所: 千葉市(千葉県立中央博物館)、東京(東京海洋大学)

- ⑦令和5年度特別企画展準備調査

期日: 令和4年11月10日(木)
場所: 津市(三重大学)

- ⑧令和5年度特別企画展準備調査

期日: 令和4年11月11日(金)~13日(日)
場所: 和歌山県太地町(日本鯨類研究所太地支所)

- ⑨令和5年度特別企画展準備調査

期日: 令和5年1月17日(火)~18日(水)
場所: 東京(日本鯨類研究所・東京海洋大学)

- ⑩令和5年度特別企画展準備調査

期日: 令和4年2月7日(火)~8日(水)
場所: つくば市(国立科学博物館)

西 浩孝 (主任学芸員: 貝類)

調査研究の主なテーマ

- ・陸産貝類の形態の多様化と系統分類
- ・中部地方の貝類相
- ・三河地方の無脊椎動物相
- ・博物館資料の情報公開

令和4年度の調査研究テーマ

- ・ニシキマイマイの殻形態変異と分子系統(英文)
- ・オモイガケナマイマイの形態変異
- ・東海地方の干潟における希少貝類の生息状況
- ・愛知県のウミウシ相
- ・豊橋市周辺のため池における淡水生貝類の生息状況
- ・三河地方の無脊椎動物相
- ・高桑 弘氏寄贈貝類目録の作成

1) 論文

(査読有)

- ①柏尾 翔・川瀬基弘・鶴飼 普・大矢美紀・西浩孝, 2023. 愛知県南知多町の潮間帯に生息す

るウミウシ類 II (頭楯目, アメフラシ目, 囊舌目). なごやの生物多様性, (10) : 27-45.

- ②Kudo, K., Kagawa, O., Ito, S., Wada, S., Nishi, H., Shariar, S. M., Yamazaki, D., Hirano, T. and Chiba, S., 2022. Species identification and invasion pathways of an introduced snail *Macrochlamys* sp. in Japan. *BioInvasions Records*, 11(4): 839-854.

<https://doi.org/10.3391/bir.2022.11.4.03>

(査読なし)

- ①西 浩孝・坂本博一・松岡敬二, 2023. 豊橋市の西池と大口池で確認された淡水動物. 豊橋市自然史博物館研究報告, (33) : 39-47.
- ②西 浩孝・西 邦雄, 2022. 日本一小さい貝ミジンワダチガイの採集. 九州の貝, (99) : 3-5.
- ③早瀬善正・木村昭一・西 浩孝・守谷茂樹・浅田 要・岩田明久, 2022. 愛知県田原市越戸町(遠州灘)の岩礁潮間帯上部の貝類. かきつばた, (47) : 1-8.
- ④浅田 要・西 浩孝, 2022. 篠島の岩礁潮間帯 3 種の図説及び塩性湿地 2 種の追加記録. かきつばた, (47) : 28-31.
- ⑤西 浩孝・藤野勇馬, 2022. 愛知県豊橋市でのカワネミジンツボの棲息状況及び形態的特徴. かきつばた, (47) : 44-46.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

- ①対馬の陸淡水産貝類. 2022 年 11 月 6 日. 名古屋貝類談話会.
- ②野々部良一氏寄贈標本の特色. 2022 年 11 月 6 日. 名古屋貝類談話会.

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

- ①日本貝類学会令和 4 年度大会
期日: 令和 4 年 11 月 12 日 (土) ~13 日 (日)
場所: 沖縄県那覇市ぶんかテンプス館

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

- ①貝類系統解析用調査

期日: 令和 4 年 6 月 21 日 (火) ~24 日 (金)

場所: 長崎県対馬市

- ②貝類系統解析用調査

期日: 令和 4 年 10 月 18 日 (火) ~19 日 (水)

場所: 鳥取県

一田昌宏 (学芸員: 古生物)

調査研究の主なテーマ

- ・飛騨外縁帯及び黒瀬川帯産出化石の古生物学的研究
- ・付加体及び付加体中の微化石に関する研究
- ・収蔵資料の効果的な利用に資するシステムの構築
- ・異常巻紡錘虫の生態学的研究

令和 4 年度の調査研究テーマ

- ・一の谷より産出した珪化紡錘虫類 *Hidaella* の 3D 解析
- ・滋賀県多賀町権現谷の珪化石の 3D 解析
- ・ジュラ紀付加体中の重力流起源の炭酸塩堆積物 (岐阜県、静岡県)
- ・化石標本のリスト化及び収蔵庫 2 内での電子地図作製
- ・収蔵用コンテナ及び資料箱のサイズの多様化と収蔵空間の節約"
- ・*Nipponitella* の生息姿勢及び堆積環境推定

1) 論文

(査読なし)

- ①一田昌宏, 2023. 「ポケモン化石博物館」で実施した大規模オンライン授業の成果と課題について. 全科協ニュース, Vol. 53, No. 1, p.2-4.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

- ①一田昌宏, 2023. X 線 CT による紡錘虫殻の観察について. 日本古生物学会第 172 回例会, P21, 福岡, 2023 年.

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

- ①日本古生物学会第 172 回例会
期日: 令和 5 年 2 月 3 日 (金) ~2 月 5 日 (日)

場所：九州大学箱崎キャンパス

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

① 紡錘虫類標本調査

期日：令和5年2月5日(月)～2月7日(火)

場所：九州大学箱崎キャンパス

稗田真也 (学芸員：植物)

調査研究の主なテーマ

- ・東三河地方の在来植物相と地域植物誌
- ・アカバナ科植物の多様性
- ・日本の外来植物相
- ・侵略的外来種の生活史・管理についての研究

令和4年度の調査研究テーマ

- ・地域の植物相・植物誌調査
- ・ミズキンバイ節植物の多様性
- ・ヒガタアシなど早期防除調査

1) 論文

(査読有)

- ① Hieda S, Ota K, Nagamine K, Kobayashi H, Noma N. 2023. Incidence of germinable seeds of *Ludwigia grandiflora* subsp. *hexapetala* (Onagraceae) in the feces of Lake Biwa's waterfowl. *Acta Phytotaxonomica et Geobotanica* 74(1): 47-51.

2) 普及書等

- ① 稗田真也, 2022. オオバナミズキンバイ 水草 だけど、水陸両生. 現代農業 101(7): 84.

3) 学会発表等

- ① 稗田真也. 文献から読み解く外来ミズキンバイ節植物の生活史特性. 侵略的外来水生植物管理に関するワークショップ, 大津, 2022年8月17日, 口頭発表

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

① 水草研究会第44回全国集会

期日：令和4年8月27日(土)

場所：オンライン開催

② 日本植物分類学会第22回大会千葉大会

期日：令和5年3月1日(水)～5日(日)

場所：1日・3日 オンライン参加

4日～5日 千葉大学(千葉市)

③ 侵略的外来水生植物管理に関するワークショップ・エクスカージョン(外部研究費)

期日：8月17日(水)～18日(木)

場所：日本生命大津ビル(大津市)(17日：ワークショップ)、京都市・大阪府内(18日：エクスカージョン)

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

① 重要生態系監視地域モニタリング推進事業 陸水域調査(琵琶湖)(外部研究費)

期日：令和4年9月21日(水)

場所：滋賀県

丹羽美春 (学芸員：岩石・鉱物)

1) 論文

(査読なし)

- ① 丹羽美春: 愛知県段戸山地域から産出した鉱物種. 豊橋市自然史博物館研究報告, (33): 33-37.

2) 普及書等

なし

3) 学会発表等

4) 学会、研究会等への参加

(※公務による出張、参加のみ掲載)

なし

5) 調査研究に係る出張

(※公務による県外出張のみを掲載)

なし

(2) 外部研究資金助成等の獲得

- ① 公益財団法人深田地質研究所 2020年度「深田地質助成」

研究分担者：一田昌宏

研究課題名：カニ化石による南大東島地史の復元～世界初の特異な海底洞窟性十脚類化石群集の解明～

助成額：500,000円

※新型コロナウイルス感染拡大の影響による

繰り越し

②科学研究費助成事業 基盤研究 (C)

研究分担者：一田昌宏

研究課題名：世界初・太平洋域最古の化石群
から探る改定洞窟生物群の起源と
消長

助成額：4,200,000 円

※新型コロナウイルス感染拡大の影響による
繰り越し

5. 資料の収集・保管活動

(1) 採集資料

採集年月日	場所	採集資料名	採集者	数量
《岩石・鉱物》				
2022.04.26	表浜（豊橋市～田原市）	軽石	加藤千茶子	10
2022.06.01	沖縄県島尻郡南大東村	軽石	一田昌宏	10
2022.11.26	長野県下伊那郡大鹿村	マイロナイト	加藤千茶子	2
《貝類》				
2022.11.07	愛知県豊橋市二川町	陸・淡水産貝類	松岡敬二・西 浩孝	13
2022.11.07	奈良県奈良市五条町	カワニナ	松岡敬二	6
《甲殻類》				
2022.06.28	長崎県対馬市厳原町	ヨコエビ	西 浩孝	1
2022.11.07	愛知県豊橋市二川町	アメリカザリガニ	西 浩孝	1
《昆虫》				
2022.07.03	不明	ツシマダルマガムシ	西 浩孝	1
《無脊椎動物》				
2022.05.19	愛知県新城市玖老勢	リクウズムシ類	西 浩孝	1
2022.06.28	長崎県対馬市厳原町	コウガイビル	西 浩孝	2
2022.11.07	愛知県豊橋市二川町	コケムシ	松岡敬二・西 浩孝	2
《両生類》				
2022.12.02	愛知県豊橋市豊清町	ウシガエル	西 浩孝	1
《爬虫類》				
2022.05.27	愛知県豊橋市東細谷町	アカウミガメ	安井謙介	1
《哺乳類》				
2023.03.25	愛知県豊橋市細谷町	スナメリ	安井謙介	2

(2) 寄贈資料

《岩石・鉱物》				
鉱物類	上野 健		2022.08.19	5
ガーネット類	加藤智成		2022.09.11	8
浅葱石	東京大学等研究グループ		2022.11.18	1
高師小僧	豊橋市立豊南小学校		2023.01.10	5
石炭	加藤温人		2023.03.01	1
輝安鉱	丹羽美春		2023.03.19	1
マンガン鉱物	丹羽美春		2023.03.19	3
単斜末野閃石、ストレンジ石	丹羽美春		2023.03.19	2
《貝類》				
海産貝類	西 浩孝		2022.04.01	1

海産貝類 (佐久島産)	西 浩孝	2022.04.01	11
海産貝類 (新居産)	西 浩孝	2022.04.01	4
海産貝類 (新居産)	西 浩孝	2022.04.01	12
海産貝類 (新居産)	西 浩孝	2022.04.01	9
海産貝類 (新居産)	西 浩孝	2022.04.01	14
海産貝類 (新居産)	西 浩孝	2022.04.01	13
海産貝類 (新居産)	西 浩孝	2022.04.01	18
海産貝類	西 浩孝	2022.04.21	40
淡水産貝類	西 浩孝	2022.04.26	31
海産貝類 (幡豆岬産)	西 浩孝	2022.05.17	9
陸産貝類 (沖繩産)	鈴木順久	2022.05.31	9
陸産貝類	西 浩孝	2022.09.07	7
陸産貝類	西 浩孝	2022.09.09	2
陸産貝類	西 浩孝	2022.09.17	2
海産貝類	西 浩孝	2022.09.28	10
海産貝類 (田原市産)	西 浩孝	2022.09.28	7
陸産貝類	西 浩孝	2022.11.12	8
淡水産貝類	西 浩孝	2022.12.20	15
淡水産貝類	柴田哲兵	2023.01.08	1
陸産貝類	木村昭一	2023.02.12	21
海産・汽水産貝類	西 浩孝	2023.02.14	3
海産貝類	西 浩孝	2023.03.19	10
《甲殻類》			
甲殻類	西 浩孝	2022.04.21	2
等脚類	西 浩孝	2022.05.17	4
ミズムシ	西 浩孝	2022.07.26	1
メクラヨコエビ	西 浩孝	2022.08.24	1
ヨコエビ	西 浩孝	2022.08.28	6
タイワンヒライソモドキ	西 浩孝	2023.02.14	2
《昆虫》			
チョウ (5種)	鈴木孝昌	2022.09.14	12
ウミアメンボ 2種	西 浩孝	2022.10.07	44
クワガタムシ科	奥田則雄	2022.11.04	2
<i>Jujiroa</i> (甲虫目オサムシ科)	建設環境研究所 (国交省浜松河川 国道事務所)	2023.01.27	2
《無脊椎動物》			
扁形動物	西 浩孝	2022.04.26	2
ミズダニ	西 浩孝	2022.07.26	1

ヒラムシ	西 浩孝	2022.08.28	10
リクウズムシ科	西 浩孝	2022.09.07	1
《両生類》			
オワリサンショウウオ	藤谷武史 (東山動植物園)	2022.04.17	1
《爬虫類》			
グリーンイグアナ	鈴木順久	2023.02.01	1
《鳥類》			
カンムリカイツブリ	豊橋市役所環境保全課	2022.04.08	1
オオミズナギドリ	藤岡エリ子	2022.04.28	1
ハイイロミズナギドリ	藤岡エリ子	2022.06.08	2
ゴイサギ	伴 了	2022.06.08	1
オオバン	藤岡エリ子	2022.10.30	1
コミミズク	高師台中学校	2022.11.04	1
キンクロハジロ	藤岡エリ子	2022.11.19	1
フクロウ・ノリス	愛知県東三河総局環境保全課	2023.02.17	2
モア・エピオルニス の 卵殻片	林澤佳子	2023.02.25	2
ヒレンジャク	岡村佳昭	2023.03.11	1
カンムリカイツブリ	藤岡エリ子	2023.03.22	1
ヒレンジャク	瀧崎吉伸	2023.03.22	1
《哺乳類》			
キツネ	藤岡エリ子	2022.05.08	1
ニホンザル	山口温子	2022.06.07	1
キョン	美澤佑紀	2022.09.24	1
タヌキ	加藤利依	2022.09.25	1
イワシクジラ, ニタリクジラ の クジラヒゲ・耳骨	一般財団法人 日本鯨類研究所	2022.11.13	8
ヒミズ	石巻小学校 4 年生児童	2022.11.18	1
キョン	美澤佑紀	2022.11.19	1
ツキノワグマ頭骨	美澤佑紀	2023.01.28	5
ツキノワグマ頭骨	美澤佑紀	2023.02.02	5
イタチ sp.	武田芳男	2023.02.26	1
アブラコウモリ	安井謙介	2023.03.22	5
《その他》			
図書	藤谷武史 (東山動植物園)	2022.04.17	2
図書	松岡敬二	不明	1

(3) 収蔵資料状況

(令和5年3月31日現在)

区分	記号	令和4年度 受入点数	令和4年度 登録点数	登録資料	未登録資料	登録・未登 録資料合計
古生物部門	TMNH	0	989	12,230	55,644	67,874
岩石・鉱物部門	TMNH-R	48	105	5,108	3,943	9,051
植物部門	TMNH-B	0	0	16,507	17,935	34,442
動物部門		425	783	80,074	394,745	474,819
その他(民芸品等)		0	0	0	6	6
	計	473	1,877	113,919	472,273	586,192
(動物部門内訳)						
貝類	TMNH-MO	276	322	45,708	142,672	188,380
甲殻類	TMNH-C	18	2	106	1,902	2,008
昆虫類	TMNH-I	61	429	30,162	247,241	277,403
その他の無脊椎動物	TMNH-IV	19	10	88	783	871
魚類	TMNH-F	0	2	2,435	1,502	3,937
両生類	TMNH-AM	2	1	78	50	128
爬虫類	TMNH-RE	2	0	162	56	218
鳥類	TMNH-AV	15	6	686	328	1,014
哺乳類	TMNH-MA	32	11	649	211	860

(4) 哺乳類等の資料化

自然史博物館では、交通事故や窓ガラスなどに衝突して死亡した野生動物や動物園の死亡個体を収集している。令和4年度に剥製あるいは骨格標本などに資料化したものは以下のとおりである。

種名	形状	数量
コツメカワウソ	組立骨格標本、毛皮標本	1
ハシボソミズナギドリ	組立骨格標本	1
ハイロミズナギドリ	組立骨格標本	1
チュウシャクシギ	組立骨格標本	1
タシギ	組立骨格標本	1
ハヤブサ	組立骨格標本	1
イカル	組立骨格標本	1
	計	7

(5) ヒゲクジラ類クジラヒゲの標本化

一般財団法人日本鯨類研究所から譲渡されたイワシクジラ及びニタリクジラのクジラヒゲ2点の標本化を行った。

(6) 外部研究者の資料利用

収蔵資料について、主に調査研究を目的とした研究者の利用について、令和4年度は2件を受入れた。

①件名：愛知県内のフロラ調査

利用者：瀧崎吉伸

内容：カヤツリグサ科標本

②件名：コケ植物研究

利用者：山内喜朗

内容：山田耕作コケ植物標本、同台帳

(7) 資料及び標本の貸出・借用

1) 貸出

- ①貸出先：名古屋市科学館
 目的：特別展「大地のハンター展」にて展示のため
 貸出期間：令和4年6月2日～6月17日
 貸出資料：ニホンオオカミ頭骨1点
- ②貸出先：蒲郡市生命の海科学館
 目的：特別展「深海化石めざめる！
 ー魅惑の師崎層群ー」にて展示のため
 貸出期間：令和4年9月2日～令和5年
 1月31日
 貸出資料：化石標本2点
- ③貸出先：国立科学博物館 三上 智之
 目的：メゾンクリーク化石群集の研究のため
 貸出期間：令和4年9月10日～令和5
 年2月28日
 貸出資料：化石資料191点
- ④貸出先：田原市博物館
 目的：企画展「海から広がる渥美半
 島展」にて展示のため
 貸出期間：令和4年9月22日～12月23
 日
 貸出資料：田原市高松産化石6点
- ⑤貸出先：聖隷クリストファー中・高等学
 校
 目的：浜松科学館企画展「科学の学
 園祭」にて展示のため
 貸出期間：令和4年10月7日～11月4
 日
 貸出資料：貝類資料8点
- ⑥貸出先：公益財団法人分県芸術文化ス
 ポーツ振興財団・大分県立美
 術館
 目的：特別企画展「ポケモン化石博
 物館」にて展示のため
 貸出期間：令和4年11月28日～令和5
 年1月29日
 貸出資料：化石・化石レプリカ等14点
- ⑦貸出先：浜松市博物館

- 目的：干支展「卯」にて展示のため
 貸出期間：令和5年1月26日～3月17
 日
 貸出資料：自然史資料等43点
- ⑧貸出先：新潟県立自然科学館
 目的：特別展「ポケモン化石博物
 館」にて展示のため
 貸出期間：令和5年1月30日～7月4日
 貸出資料：化石・化石レプリカ15点
- ⑨貸出先：兵庫県立美術館
 目的：「恐竜図鑑展」にて展示のため
 貸出期間：令和5年2月10日～5月21
 日
 貸出資料：小田 隆 作絵画2点

2) 借用

- ①借用先：神奈川県立生命の星・地球博物
 館
 目的：展示標本および学習標本とし
 て利用するため
 借用期間：令和4年4月1日～令和5年
 3月31日
 借用資料：岩石標本9点
- ②借用先：三笠市立博物館
 目的：特別企画展「ポケモン化石博
 物館」での展示のため
 借用期間：令和4年6月29日～11月30
 日
 借用資料：アンモナイト化石等16点
- ③借用先：国立科学博物館
 目的：特別企画展「ポケモン化石博
 物館」での展示のため
 借用期間：令和4年6月29日～11月30
 日
 借用資料：化石・化石レプリカ4点
- ④借用先：島根県立三瓶自然館
 目的：特別企画展「ポケモン化石博
 物館」での展示のため
 借用期間：令和4年6月29日～11月30
 日

- 借用資料：化石レプリカ・模型 3 点
- ⑤借用先：岡島義孝
 目的：特別企画展「ポケモン化石博物館」での展示のため
 借用期間：令和 4 年 6 月 29 日～11 月 30 日
 借用資料：北海道産アンモナイト化石 1 点
- ⑥借用先：藤原寛一
 目的：特別企画展「ポケモン化石博物館」での展示のため
 借用期間：令和 4 年 6 月 29 日～11 月 30 日
 借用資料：北海道産ウミガメ類甲羅化石 1 点
- ⑦借用先：群馬県立自然史博物館
 目的：特別企画展「ポケモン化石博物館」での展示のため
 借用期間：令和 4 年 7 月 6 日～11 月 28 日
 借用資料：化石・化石レプリカ 16 点
- ⑧借用先：名古屋市科学館
 目的：特別企画展「ポケモン化石博

- 物館」での展示のため
 借用期間：令和 4 年 7 月 8 日～11 月 18 日
 借用資料：ティラノサウルス下顎骨・椎骨化石 2 点
- ⑨借用先：島根県立三瓶自然館
 目的：特別企画展「ポケモン化石博物館」での展示のため
 借用期間：令和 4 年 6 月 29 日～11 月 30 日
 借用資料：化石レプリカ・模型 3 点
- ⑩借用先：浜松市博物館
 目的：干支展「卯」での展示のため
 借用期間：令和 4 年 12 月 6 日～令和 5 年 1 月 26 日
 借用資料：歴史・民俗学的資料等 29 点
- ⑪借用先：田原市教育委員会
 目的：資料調査のため
 借用期間：令和 5 年 3 月 17 日～3 月 30 日
 借用資料：保美・伊川津貝塚出土の哺乳類資料 11 点

(8) 図書

1) 購入図書

(単行本)

(13 冊)

書名	著者・編集・監修者	出版社
日本の馬	近藤誠司 (編)	東京大学出版会
鯨類学	村山 司 (編著)	東海大学出版会
新日本両生爬虫類図鑑	日本爬虫両棲類学会 (編)	サンライズ出版株式会社
世界のカメラ類	大谷 勉 (著)	文一総合出版
鱗の博物誌	田畑 純、遠藤雅人、塩栗大輔、安川雄一郎、栗山武夫、森本 元 (著)	グラフィック社
世界のどんぐり図鑑	徳永桂子 (著)	平凡社
Flora of Japan, Volume IVa	岩槻邦男・D.E.Boufford・大場秀章 (編)	講談社サイエンティフィック
Flora of Japan General Index	岩槻邦男・D.E.Boufford・大場秀章 (編)	講談社サイエンティフィック

採集と見分け方がバッチリわかるアンモナイト図鑑	守山容正 (著)	築地書店
図説 地球科学の事典	鳥海光弘・入舩徹男・岩森 光・ウォリス サイモン・小平秀一・小宮 剛・阪口 秀・鷺谷 威 (編)	朝倉書店
Marine mammals of the world	Marc A. Webber PhD, Thomas Allen Jefferson PhD, Robert L. Pitman (著)	Elsevier Academic Press
The emergence of whales, Evolutionary patterns in origin of Cetacea	J.G.M. Thewissen (編)	Springer
Microtectonics	Cees W. W. Passchier, Rudolph A. J. Trouw (著)	Springer

(雑誌類)

(42冊)

雑誌名	巻号数	出版社
日経サイエンス	第52巻5～12号、第53巻1～4号	日経サイエンス社
科学	第92巻4～12号、第93巻1～3号	岩波書店
遺伝	第76巻3～6号、第77巻1～2号	エヌ・ティー・エス
昆虫と自然	第57巻4～12号、第58巻1～3号	ニューサイエンス社

2) 交換・寄贈図書等

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

国内：249機関から611冊

国外：11カ国19機関から73冊

個人：2人から3点

3) 図書資料収蔵点数

47,070点 (令和5年3月31日現在)

6. 施設整備

(1) 収蔵庫 3 標本棚

地学系標本を適正に収蔵庫内へ収蔵するため、収容力が高い棚の設置や庫内レイアウトの見直し等、収蔵庫の再整備を進めている。

令和 4 年度は、収蔵庫 3 の収容力を高めるため、固定棚を一部移設し、新たに移動棚を設置した。

契約金額：3,993,000 円

納入業者：株式会社イクモ

(2) 収蔵庫 4 標本棚

生物系標本を適正に収蔵庫内へ収蔵するため、収容力が高い棚の設置や庫内レイアウトの見直し等、収蔵庫の再整備を進めている。令和 4 年度は、液浸標本用の収蔵庫 4 に移動棚を設置した。

契約金額：7,260,000 円

納入業者：株式会社東和

(3) 収蔵庫 5 標本棚

(2)と同様の理由により乾燥標本用の収蔵庫 5 の再整備を進めている。令和 4 年度は、貝類用標本棚と脊椎動物用標本棚を設置した。

契約金額：9,391,800 円

納入業者：株式会社東和

(4) 収蔵庫 4 空調機器

液浸標本を適切に保管するため、収蔵庫 4 に空調機器を導入した。

契約金額：1,540,000 円

納入業者：株式会社中部技術サービス

(5) 無線 LAN 整備

館内の展示室および講堂等に無線 LAN のアクセスポイントを設置し、館内で無線 LAN を利用できるようにした。

契約金額：1,867,800 円

受託者：音羽電子システム株式会社

(6) 修繕等

①滅菌装置修繕

滅菌装置操作盤内の気化器温度調整用ロバー
トショウ等の機器を取替える修繕を行った。

契約金額：899,800 円

請負業者：東化研株式会社

修繕期間：令和 4 年 5 月 25 日～9 月 16 日

②自然史博物館会議室等空調修繕

会議室及び撮影編纂室の空調機を取替える
修繕を行った。

契約金額：2,255,000 円

請負業者：アール電装中部株式会社

修繕期間：令和 4 年 5 月 11 日～6 月 8 日

③特別企画展示室展示ケース照明 LED 化修繕

特別企画展示室の展示ケース内の照明器具 14
台の蛍光管を LED 機器に取替する修繕を行った。

契約金額：232,100 円

請負業者：有限会社栄和電工

修繕期間：令和 4 年 5 月 12 日～6 月 30 日

④3D プロジェクターDCP サーバー取替修繕

大型映像システムの 3D プロジェクターDCP
サーバーを取替える修繕及び他の上映システ
ム機器等との調整を行った。

契約金額：999,900 円

請負業者：株式会社デジタル・アンド・デザイ
ン・ピクチャーズ

修繕期間：令和 4 年 4 月 26 日～8 月 31 日

⑤自然史博物館特別企画展示室ロビー屋上漏水 修繕

特別企画展示室ロビー屋上の防水修繕を行っ
た。

契約金額：159,500 円

請負業者：有限会社 創喜商会

修繕期間：令和 4 年 5 月 25 日～9 月 13 日

⑥入口自動ドア部品取替修繕

入口自動ドア（内側）の扉振止用ガイドローラ
一等を取替える修繕を行った。

契約金額：127,000 円

請負業者：株式会社藤環 三河営業所

修繕期間：令和5年2月1日～3月7日

⑦自然史博物館収蔵庫5空調機室内機修繕

収蔵庫5空調機室内機の熱交換器を取替える修繕を行った。

契約金額：429,000 円

請負業者：株式会社藤環 三河営業所

修繕期間：令和5年2月15日～3月7日

⑧野外恐竜模型（イグアノドン・デイノニクス・パキケファロサウルス）修繕

野外恐竜ランドにある強化プラスチック（FRP）製恐竜模型の消耗及び破損部分の補修と全面塗装する修繕を行った。

契約金額：1,038,400 円

請負業者：株式会社藤環 三河営業所

修繕期間：令和5年2月3日～3月14日

⑨古生代展示室展示ケース照明LED化修繕

古生代展示室の照明器具23台の蛍光管をLED機器に取替える修繕を行った。

契約金額：693,000 円

請負業者：有限会社栄和電工

修繕期間：令和5年1月31日～3月28日

⑩排気ファン取替修繕

研究棟エレベータ室内天井に配置されているダクト排気ファンを取替える修繕を行った。

契約金額：416,900 円

請負業者：株式会社中部技術サービス

修繕期間：令和5年2月16日～3月2日

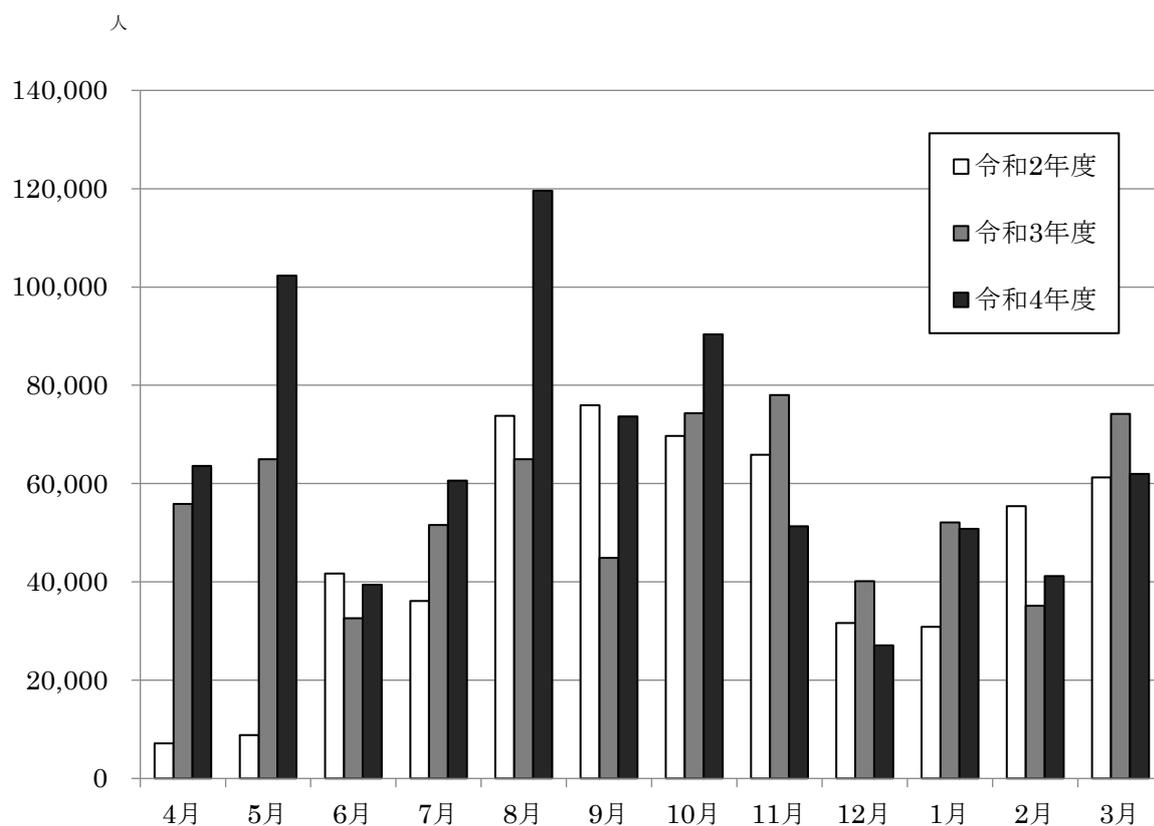
II. 利用状況

1. 入館者

(1) 自然史博物館利用統計

区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	入館者	前年比	動植物公園	入館者	前年比	動植物公園	入館者	前年比	動植物公園
月	人	%	人	人	%	人	人	%	人
4	7,132	△90.2	16,095	55,872	683.4	104,383	63,565	13.8	99,265
5	8,826	△90.6	27,961	64,978	636.2	107,922	102,340	57.5	175,122
6	41,734	21.4	58,893	32,627	△21.8	50,707	39,402	20.8	55,158
7	36,135	13.9	49,654	51,601	42.8	62,131	60,595	17.4	69,320
8	73,798	8.1	95,131	64,950	△12.0	76,858	119,622	84.2	142,258
9	75,963	32.2	107,333	44,907	△40.9	59,530	73,683	64.1	100,452
10	69,678	30.1	111,254	74,298	6.6	111,533	90,354	21.6	143,033
11	65,842	16.5	92,001	78,017	18.5	108,666	51,318	△34.2	92,559
12	31,659	△6.6	49,791	40,120	26.7	58,378	27,098	△32.5	41,465
1	30,840	△35.3	43,172	52,114	69.0	67,327	50,787	△2.5	67,527
2	55,421	27.3	68,753	35,110	△36.6	48,486	41,183	17.3	57,927
3	61,265	9.4	84,884	74,161	21.0	104,226	61,994	△16.4	90,853
年計	558,293	△14.1	804,922	668,755	19.8	960,167	781,941	16.9	1,134,939
累計	16,188,172	—	—	16,856,927	—	—	17,638,868	—	—

※平成4年4月29日、「動物園」と「自然史博物館」が一体の有料都市公園施設となり、名称が『豊橋総合動植物公園』となる。平成8年4月27日植物園オープン。



(2) 入館者種別

(項目別入館者数)

区分	曜日等の区別			合計
	日曜・祝日等	土曜日	その他	
開館日数	65 日	50 日	199 日	314 日
入館者総数	331,736 人	213,861 人	236,344 人	781,941 人
1 日平均	5,104 人	4,277 人	1,200 人	2,506 人
1 か月平均	27,645 人	17,822 人	19,695 人	65,162 人
1 日最高入館者	5 月 4 日 13,365 人	9 月 24 日 10,520 人	8 月 15 日 9,423 人	—

(3) ホームページ閲覧者数

月	トップページ	英語板
令和4年4月	9,048	211
5月	8,778	209
6月	11,229	183
7月	14,409	290
8月	—	—
9月	—	—
10月	1,560	17
11月	2,385	30
12月	5,120	82
令和5年1月	5,278	86
2月	4,931	82
3月	5,623	84
計	68,361	1,274

※豊橋市自然史博物館ホームページ：<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>

※ホームページ開設：2000年10月7日

※アクセス解析によるページビュー数

※アクセス解析の不調により、7月29日～11月22日は閲覧者数が正常に取得できていない

(4) 石巻自然科学資料館入館者状況

区分	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比	開館日数	利用者	前年比
月	日	人	%	日	人	%	日	人	%
4	11	378	△14.7	26	818	116.3	26	630	△23.0
5	6	153	△82.2	26	885	478.4	26	705	△20.3
6	25	608	△15.0	26	620	2.1	26	450	△27.4
7	27	413	15.4	27	445	7.7	27	315	△29.2
8	26	686	70.2	26	267	△61.1	26	416	55.9
9	26	608	34.2	26	400	△34.2	26	253	△36.8
10	27	706	14.8	27	745	5.5	26	555	△25.5
11	25	970	15.5	25	676	△30.3	26	612	△9.5
12	27	998	76.6	27	564	△43.5	27	306	△45.7
1	27	580	△2.4	26	716	23.4	26	494	△31.0
2	24	709	41.8	24	453	△36.1	24	381	△15.9
3	26	598	△47.8	27	743	24.2	27	440	△40.8
計	277	7,407	△1.1	313	7,332	△1.0	313	5,557	△24.2

※平成12年度から、機構改革に伴い資料館の管理が、商業観光課から自然史博物館に移管された。

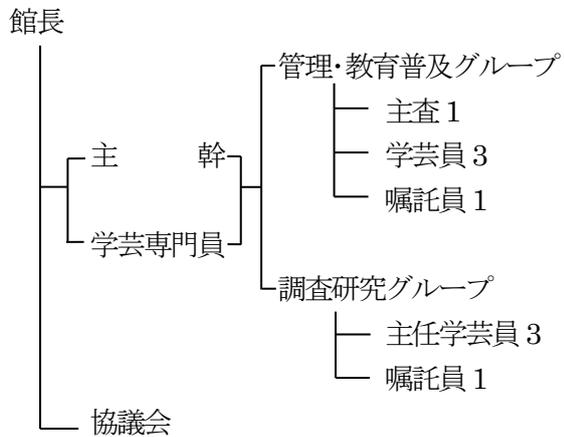
※平成13年4月1日から、自然史博物館の附属施設となった。(豊橋市自然史博物館条例の一部改正)

III. 組織及び運営

1. 組織

(1) 運営組織

(令和5年3月31日)



ミュージアムアドバイザー

(2) 自然史博物館職員

(令和5年3月31日)

役職名	氏名
館長	坂本博一
主幹	浅野佳奈子
学芸専門員	長谷川道明
主査	太田里香
主任学芸員	加藤千茶子
主任学芸員	安井謙介
主任学芸員	西 浩孝
学芸員	丹羽美春
学芸員	一田昌宏
学芸員	稗田真也
嘱託員	谷野正明
嘱託員	保木井伸佳

ミュージアムアドバイザー	松岡敬二
--------------	------

2. 博物館の使用料等

①入館料：自然史博物館入館料は、豊橋総合動植物公園の入園料の一部として、総合動植物公園入園料に一本化されている。(平成4年4月29日以降)

区分	豊橋総合動植物公園入園料	
	個人	団体
大人	600円	480円
小・中学生	100円	80円

※学齢に達しない者は、無料とする。

②使用料(観覧等)：自然史博物館条例第4条 特別企画展観覧料(以下の金額の範囲内)

区分	特別企画展観覧料 (1人1回につき)	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000円	800円
小・中学生	400円	300円

※学齢に達しない者は、無料とする。

※団体とは、30人以上とする。

大型映像観覧料(以下の金額の範囲内)

区分	大型映像観覧料 (1人1回につき)	
	個人観覧料	団体観覧料
大人	1,000円	800円
小人(中学生以下)	400円	300円

※個人利用において学齢に達しない者は、保護者1人につき1人に限り無料とする。

※団体とは、30人以上とする。

③手数料：自然史博物館条例第5条 博物館の資料を撮影等するとき。

区分	単位	手数料
複写	1枚につき	20円
模写	1点につき	1,030円
模造	1点につき	1,030円
拓本	1点につき	1,030円
撮影	撮影した写真を出版物等への掲載を目的とする場合	1点につき 1,030円
	その他の場合	300円

④講堂、特別企画展示室使用料：自然史博物館条例第6条

区分	単位	使用料
講堂	午前9時から 正午まで	3,510円
	午後1時から 午後4時30分まで	4,150円
	午前9時から 午後4時30分まで	7,660円
特別企画 展示室	午前9時から 正午まで	9,600円
	午後1時から 午後4時30分まで	10,670円
	午前9時から 午後4時30分まで	20,270円

※入場料又は会費の類を徴収する場合の使用料は、当該使用料の倍額とする。

3. 決算

(1) 令和4年度歳入歳出決算

(歳入)

項名	説明	決算額
使用料	観覧料等	89,839,814
手数料	資料複写等手数料	18,540
国庫補助金	自然史博物館事業費	1,103,000
財産収入	その他賃貸料	10,787,204
諸収入	図録頒布収入	214,000
	講座等収入	270,600
	調査研究活動事業収入	399,320
	光熱水費収入	201,249
	雑入	403,244
	小計	1,488,413
合計		103,236,971

(歳出)

費目	決算額
	円
報酬	10,947,716
給料	44,817,600
職員手当等	32,234,352
共済費	16,463,686
報償費	108,000
旅費	1,407,808
需用費	35,448,139
(消耗品費)	4,435,151
(燃料費)	141,034
(食糧費)	4,000
(印刷製本費)	2,004,150
(光熱水費)	20,604,917
(修繕料)	8,258,887
(医薬材料費)	0
役務費	4,086,361
委託料	51,188,495
使用料及び賃借料	20,244,710
工事請負費	7,052,100
原材料費	0
備品購入費	23,015,663
負担金、補助及び交付金	277,850
公課費	8,200
合計	247,297,300

4. 豊橋市自然史博物館協議会

第1回

期 日：令和4年8月18日（木）

場 所：自然史博物館 講堂

出席者：委員（9人）

伊藤昭康、安村信弘、杉山康子、木下桂子、丸山香奈江、島田知彦、中神則子、河村善也

事務局（5人）

議 題：

- ・会長及び副会長の互選について
会 長 安村信弘
副会長 滝川昌男
- ・令和3年度 自然史博物館事業報告について
- ・令和4年度 自然史博物館主要事業について
- ・豊橋市の科学教育施設の将来像について

第2回

期 日：令和5年3月16日（木）

場 所：豊橋みどりの協会 講義室

出席者：委員（10人）

伊藤昭康、安村信弘、杉山康子、木下桂子、丸山香奈江、島田知彦、中神則子、河村善也、三輪多恵子

事務局（5人）

議 題：

- ・令和4年度の主な活動について
- ・令和5年度豊橋市自然史博物館の主要事業計画（案）について

豊橋市自然史博物館協議会委員

（令和4年度）

役職名	氏名	部門
小中学校長会代表	伊藤昭康	学校教育
小中学校長会代表	滝川昌男	学校教育
自治連合会代表	安村信弘	社会教育
自然史博物館 ボランティア代表	杉山康子	社会教育
小中学校 PTA 連絡協議会代表	富永真紀	家庭教育
小中学校 PTA 連絡協議会代表	池戸美奈	家庭教育
愛知教育大学 准教授	島田知彦	学識経験
豊橋創造大学 教授	三輪多恵子	学識経験
元豊城中学校教頭	中神則子	学識経験
愛知教育大学 名誉教授	河村善也	学識経験

5. 各種委員会

(1) 豊橋市自然史博物館資料収集委員

購入予定資料、寄贈受入予定資料等について審査、意見を聴取する。令和4年度は、審査案件がなかったため未開催。

豊橋市自然史博物館資料収集委員
(令和4年度)

区分	氏名	所属・役職
古生物	河村善也	愛知教育大学名誉教授
植物	藤井伸二	人間環境大学准教授
昆虫	江田信豊	元・南山大学教授
脊椎動物	織田銃一	元・岡山理科大学教授 元・名古屋大学大学院教授

(2) 豊橋市自然史博物館研究委員会

第1回

期 日：令和4年6月14日（水）

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

報告事項：

- 令和3年度に行ったアンケート結果と対応（案）について
- 令和3年度「とよはし科学月間」実績について

議 題：

- 令和4年度の事業について
- 第18回自然史博物館自由研究展
- 出前授業／標本貸出セット
- 意見交換
- 豊橋市の科学教育施設のあり方について
- その他

第2回

期 日：令和4年10月5日（水）～13日（木）
の間で各委員が都合に合わせて来館、審査

場 所：豊橋市自然史博物館講堂

議 題：

- 第18回自然史博物館自由研究展応募作品の審査

第3回

期 日：令和5年3月10日（金）

場 所：豊橋市自然史博物館学習室 I

議 題：

- 令和4年度の事業報告
- 第18回自由研究展
- 出前授業・貸出セット
- UIT デジタルコンテンツ実証実験
- その他
- 令和5年度博物館の事業について
- 令和5年度自由研究展
- その他
- その他

豊橋市自然史博物館研究委員

(令和4年度)

区分	氏名	所属・役職
委員長	中村 宏	豊南小学校長
委員	山田真裕	石巻小学校教諭
委員	植田景子	二川小学校教諭
委員	鈴木進太郎	石巻中学校教諭
委員	近藤法明	大清水小学校教諭
委員	佐羽尾かおり	西郷小学校教諭
委員	鈴木理恵子	富士見小学校教諭

(3) 豊橋市自然史博物館大型映像番組選定委員会

期 日：令和4年6月23日（木）

場 所：自然史博物館講堂

主席者：委員長、委員4人、事務局4人

議 題：

- 令和4年10月からの自然史博物館大型映像デ

デジタル番組組込・宣伝業務の契約候補者の選定
について

6. 自然史博物館ボランティア

市民参加による博物館事業の推進及び生涯学習に資するため、平成8年度から博物館ボランティアの一般公募を行っている。常設展示及び特別企画展の解説活動を主とする「教育普及ボランティア」と、標本の処理、登録作業を行う「資料ボランティア」がある。令和4年度は、98人が登録し、活動を行った。

1) 新規ボランティア説明会及び研修

本年度は15人の応募者があり、所定の研修後、14人を採用した。

2) 運営委員会の開催

ボランティア主催の行事を自主的に企画・運営する運営委員に7人が選出され、10回の運営委員会が開催された。

3) ボランティア・ガイドツアー

本年度のボランティアによる常設展示室のガイドツアーは新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、実施を見合わせた。代替活動として、展示室のスポットガイドを36回開催した。

4) ボランティア通信「ぶしたこ」の発行

ボランティアの相互交流と情報交換を目的としたボランティア通信「ぶしたこ」を37号から39号まで発行した。

5) 特別企画展関連行事での活動

特別企画展「ポケモン化石博物館」の館内スポットにて、展示解説などを行った。

6) 恐竜大掃除

令和4年12月16日（金）に開催された恐竜大掃除に25人が参加し、野外恐竜ランドの実物大恐竜模型及び博物館内の恐竜骨格標本の清掃を職員とともにいった。

7) ボランティア主催行事

下記の研修会を自主的に企画し、開催した。

①ボランティア総会

期 日：令和4年5月15日（日）

参加者：42人

①チリモン基礎講座

期 日：令和4年5月28日（土）

参加者：7人

②野外研修会（植物）

期 日：令和4年10月22日（日）

参加者：14人

③標本写真撮影法（貝類）

期 日：令和4年11月27日（日）

参加者：5人

④火山灰中の鉱物観察会（岩石・鉱物）

期 日：令和5年1月29日（日）

参加者：6人

⑤バックヤード案内（脊椎動物）

期 日：令和5年2月26日（日）

参加者：7人

令和4年度のボランティア活動実績（令和4年4月～令和5年3月）

分野	登録人数	活動のべ人数	活動のべ時間	活動内容	
運営委員会	7	63	94	自主研修等の企画・運営	
編集委員会	6	41	114	ボランティア通信の編集・発行	
教育普及	29	133	316	展示解説等	
資料整理	植物	11	22	55	標本台紙貼等
	貝類	8	112	275	標本ラベル記入、リスト作成等
	昆虫	10	107	227	標本作製等
	魚類	8	18	56	標本作製等
	脊椎動物	24	184	479	標本作製等
	化石	19	312	710	化石クリーニング、登録等
	岩石・鉱物	6	8	29	登録、リスト作成等
	図書	5	54	100	図書受入、登録、配架等
小計	91	817	1,931		
計	133	1,054	2,455		

※登録人数は98人、内22人が複数分野に登録

IV. 条例、規則、要綱

豊橋市自然史博物館条例

(昭和 63 年 3 月 31 日条例第 6 号)

(趣 旨)

第 1 条 この条例は、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号。以下「法」という。）第 18 条の規定に基づき、豊橋市自然史博物館及びその附属施設（以下「自然史博物館」という。）の設置に関し、必要な事項を定めるものとする。

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(設 置)

第 2 条 自然史に関する資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、又は展示して一般公衆の利用に供し、併せて博物館資料に関する調査研究を行い、市民の文化の向上に資するため、自然史博物館を次の場所に置く。

名称	位置
豊橋市自然史博物館	豊橋市大岩町字大穴 1 番地の 238
(附属施設) 豊橋市石巻自然科学 資料館	豊橋市石巻町字南山 93 番地の 2

一部改正〔平成 13 年条例 13 号〕

(事 業)

第 3 条 自然史博物館は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 博物館資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する解説書、図録、調査研究の報告書等を作成し、頒布すること。
- (4) 博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等を開催すること。
- (5) 自然史に関する展示等のための会場を提供すること。
- (6) その他教育委員会が必要と認める事業を行うこと。

(観覧等)

第 4 条 特別企画展示室において特別な企画に基づく博物館資料の展示品を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

2 特別企画展示室において大型映像を観覧しようとする者は、別表第 2 に定める額の範囲内において市長が定める使用料を納付しなければならない。

全部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

一部改正〔平成 23 年条例 13 号〕

(博物館資料の利用等)

第 5 条 博物館資料の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者は、その際別表第 3 に定める手数料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

(使用の承認等)

第 6 条 自然史に関する展示又は博物館資料に関する講演会、研究会、講習会等のために自然史博物館を使用しようとする者は、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 前項の承認を受けた者（以下「使用者」という。）は、その際別表第 4 に定める使用料を納付しなければならない。

一部改正〔平成 4 年条例 15 号〕

(使用料等の減免)

第 7 条 市長は、特別の事由があると認めるときは、使用料又は手数料を減免することができる。

(使用の制限)

第 8 条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、使用を承認しない。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。
- (2) 管理上支障があると認めるとき。
- (3) その他教育委員会が必要があると認めるとき。

(権利譲渡の禁止等)

第9条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

2 使用者は、自然史博物館に特別の設備をしようとするときは、あらかじめ教育委員会の許可を受けなければならない。

(使用承認の取消等)

第10条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認めた場合には、自然史博物館の使用の承認を取り消し、又は使用の停止を命ずることができる。

(1) 使用者が、この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。

(2) 公益上又は管理上特に必要があると認められたとき。

(使用料等の還付)

第11条 納付された使用料又は手数料は、還付しない。ただし、市長が特別の事由があると認められたときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限)

第12条 教育委員会は、次の各号の一に該当する場合には、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(1) 入館者に迷惑をかけ、又は自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷するおそれがあると認められたとき。

(2) 管理上支障があると認められたとき。

(原状回復)

第13条 使用者は、自然史博物館の使用を終わったとき又は第10条の規定により使用の承認を取り消され、若しくは使用を停止されたときは、直ちに原状に回復しなければならない。

(損害賠償)

第14条 入館者又は使用者は、自然史博物館の施設、設備、博物館資料等を損傷し、又は滅失したときは、市長の指示に従い、これを原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事由があると

認められたときは、その全部又は一部を免除することができる。

(自然史博物館協議会)

第15条 法第20条第1項の規定に基づき、自然史博物館に豊橋市自然史博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員の定数は、12人以内とする。

3 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が任命する。

4 協議会の委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の委員は、再任されることができる。

一部改正〔平成24年条例8号〕

(委 任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

*別表類は下記の箇所を参照。

第4条 別表第1. 63 ページ ②

〃 別表第2. 〃 〃

第5条 別表第3. 63 ページ ③

第6条 別表第4. 63 ページ ④

豊橋市自然史博物館条例施行規則

(昭和63年4月5日教育委員会規則第4号)

(趣 旨)

第1条 この規則は、豊橋市自然史博物館条例(昭和63年豊橋市条例第6号。以下「条例」という。)第16条の規定に基づき、条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 豊橋市自然史博物館及び附属施設(以下「自然史博物館」という。)の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要があると認められたときは、開館時間を変更することができる。

2 自然史博物館の入館時間は、午前9時から午後4時までとする。ただし、教育委員会が

必要があると認めるときは、入館時間を変更することができる。

一部改正〔平成13年教委規則8号〕

(休館日)

第3条 自然史博物館の休館日は、次の各号に掲げる施設に応じ、当該各号に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 豊橋市自然史博物館 次に掲げる日

ア 1月5日から12月28日までの毎週月曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

イ 1月1日及び12月29日から同月31日まで

(2) 豊橋市石巻自然科学資料館 月曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日

全部改正〔平成13年教委規則8号〕

一部改正〔平成19年教委規則3号〕

(観覧等)

第4条 条例第4条第1項の規定により、特別な企画に基づく展覧会(以下「特別企画展」という。)を観覧しようとする者(以下「特別企画展観覧者」という。)は、使用料の納付と引換えに教育委員会がその都度定める様式による観覧券の交付を受けなければならない。

2 条例第4条第2項の規定により、大型映像を観覧しようとする者は、使用料の納付と引き換えに観覧券(様式第1)の交付を受けなければならない。

3 前2項又は次条第1項の規定により交付された観覧券は、特別企画展示室の入口において改札と同時に半券を回収する。ただし、団体観覧の場合は、この限りでない。

全部改正〔平成4年教委規則14号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(前売券の交付)

第5条 教育委員会は、特別企画展観覧者に対しては、前条第1項に規定する観覧券にかえて教育委員会がその都度定める様式による前売観覧券(以下「前売券」という。)を交付することができる。

2 前項の前売券を交付する場合の使用料の額は、当該前売券に係る特別企画展の団体観覧料と同額とする。

追加〔平成8年教委規則5号〕

(優待券等の発行)

第6条 教育委員会が特に必要があると認めるときは、優待券又は招待券を発行することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の利用)

第7条 条例第5条第1項の規定により博物館資料(条例第2条に規定する博物館資料をいう。以下同じ。)の閲覧、複写、模写、模造、拓本、撮影等をしようとする者は、博物館資料利用申請書(様式第2)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認申請手続)

第8条 条例第6条第1項の規定により、自然史博物館の使用承認を受けようとする者は、使用承認申請書(様式第3)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定による申請の手続は、使用日の属する月の6月前から使用日前7日前までにしなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用の承認)

第9条 教育委員会は、前条の規定による申請を承認したときは、使用承認書(様式第4)を申請者に交付する。

2 前項の承認には、管理上必要な条件を附することができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(手数料の減免)

第10条 条例第7条の規定により、手数料の減免を受けようとする者は、手数料減免申請書(様式第5)を市長に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料の減免)

第11条 条例第7条の規定により使用料を減免することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 免除

ア 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の所持者及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 豊橋市、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市、北設楽郡設楽町、同郡東栄町及び同郡豊根村(以下「東三河地域」という。)の小学校、中学校及びこれらに準ずる学校の教育活動の一環として児童又は生徒及びこれらの者の引率者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

ウ 東三河広域連合の交付するほの国子どもパスポートの所持者が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

エ 東三河地域に居住し、又は通園している学齢に達していない者のうち、保護者1人につき2人目以降の者が大型映像を観覧するとき。

(2) 免除又は減額

ア 観覧しようとする日の属する年の12月31日までに70歳以上となる者(市内に住所を有する者に限る。)が特別企画展又は大型映像を観覧するとき。

イ 市長が特別の事情があると認めるとき。

2 前項第1号イ及び第2号イの規定により使

用料の免除又は減額を受けようとする者は、使用料減免申請書(様式第6又は様式第7)を市長に提出しなければならない。

3 第1項第1号(イを除く。)及び第2号アの規定によりの規定により使用料の免除を受けようとする者は、それぞれに掲げる免除事由に該当することを係員に示さなければならない。

全部改正〔平成5年教委規則6号〕

一部改正〔平成8年教委規則5号・16年7号・25年4号・27年10号・30年7号〕

(特別の設備)

第12条 条例第9条第2項の規定により許可を受けようとする者は、自然史博物館の使用承認の申請の際に併せてその申請をしなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(使用料等の還付)

第13条 条例第11条ただし書の規定により既納の使用料又は手数料の全部又は一部を還付することができる場合は、次のとおりとする。

(1) 特別企画展若しくは大型映像を観覧しようとする者又は使用者の責に帰することのできない事由で観覧し、又は使用することができなくなったとき。

(2) その他市長が特別の事由があると認めるとき。

一部改正〔平成4年教委規則10号・14号・8年5号〕

(博物館資料の館外貸出し)

第14条 博物館資料は、館外貸出しを行わないものとする。ただし、教育委員会が適当と認めたものについては、この限りでない。

2 前項の館外貸出しを受けようとする者は、資料館外貸出申請書(様式第8)を教育委員会に提出しなければならない。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

(博物館資料の寄託)

第15条 自然史博物館は、博物館資料の寄託を受けることができる。

2 博物館資料を寄託しようとする者（以下「寄託者」という。）は、資料寄託申請書（様式第9）を教育委員会に提出しなければならない。

3 教育委員会は、前項の規定による申請を承認したときは、寄託者に資料受託書（様式第10）を交付するものとする。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（自然史博物館協議会）

第16条 条例第15条第1項に規定する豊橋市自然史博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長及び副会長の任期は各1年とし、再任を妨げない。

3 会長は会務を総理し、会議の議長となる。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（会議）

第17条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（説明又は資料の請求等）

第18条 会長は、会議において関係職員に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

2 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

一部改正〔平成8年教委規則5号〕

（委任）

第19条 この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

一部改正〔平成8年教委規則5号・12年7号〕

豊橋市自然史博物館資料収集委員会設置要綱

（設置）

第1条 豊橋市自然史博物館（以下「自然史博物館」という。）における博物館資料の収集を適正かつ円滑に行うため、豊橋市自然史博物館資料収集委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（組織）

第2条 委員会は、5人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、自然史各分野について専門的な知識を有する者から教育委員会が委嘱する。

3 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 前各項の規定にかかわらず、必要に応じ、第4条の規定に基づく審査案件の専門知識を有する者を臨時委員として委嘱することができる。

（会議）

第3条 委員会は、教育委員会が招集する。

2 審査案件が単件又は同一の専門分野のみの場合、当該案件について専門的な知識を有する委員のみによる審査に代えることができる。

3 委員会は、非公開とする。

（審査事項等）

第4条 委員会は、博物館資料となる資料の購入又は受入れに関し、次に掲げる事項を審査するものとする。

(1) 対象となる資料の真贋及び学術的価値に関する事項

(2) 対象となる資料の評価額に関する事項

(3) 対象となる資料の適法性に関する事項

(4) 前3号に掲げるもののほか、資料の購入又は受入れに関し市長が必要と認める事項

2 次の各号のいずれかに該当する場合、自然史博物館は、あらかじめ委員会の意見を聴取するものとする。

(1) 評価額が1件 100 万円以上の博物館資料の購入、寄贈又は寄託を受け入れようとするとき。

(2) 前号に掲げるもののほか、特に必要と認める資料を購入し、又は受け入れようとするとき。

3 委員会は、第1項の規定による審査の終了後、博物館資料審査報告書(別添様式)を作成し、審査結果を報告する。

4 第1項の規定による審査の内容について利害関係を有する委員は、前3項に基づく任務に加わることができない。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(秘密の保持)

第6条 委員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この要綱は、平成30年7月27日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年1月1日から施行する。

豊橋市自然史博物館研究委員会要綱

(設置)

第1条 豊橋市自然史博物館(以下「自然史博物館」という。)の教育普及活動の効率的な推進を図るために、豊橋市自然史博物館研究委員会(以下「研究委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 研究委員会は、次に掲げる事業について、必要に応じ協議し、助言を行う。

(1) 自然史博物館の施設利用に関すること。

(2) 学校との連携事業に関すること。

(3) その他特に必要と認められること。

(委員)

第3条 研究委員会は、委員長及び委員をもって構成し、定数は10名以内とする。

2 委員長及び委員は、市内小中学校の教諭で理科を担当するもののうちから教育委員会が委嘱する。

3 委員長は、研究委員会を招集し、委員会の議長となる。

(委員会)

第4条 研究委員会は、必要に応じ委員長が招集する。

2 研究委員会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 研究委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(委員の任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げないものとする。

2 前項の規定にかかわらず、後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(守秘義務)

第6条 委員長及び委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その任期後も、同様とする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、自然史博物館において処理する。

(委任)

第8条 研究委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成15年6月4日から施行する。

附 則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

V. 自然史博物館の概要

経過

昭和58年	デンバー自然史博物館（アメリカ）と友好提携 実物恐竜化石アナトサウルス購入
昭和60～62年度	建設工事（市制施行80周年記念事業）
昭和63年5月1日	開館
平成4年4月29日	総合動植物公園オープン
平成4年12月19日	大型映像スタート
平成7年3月25日	郷土の自然展示室展示改装オープン
平成16年4月29日	古生代展示室展示改装オープン
平成20年4月26日	中生代展示室展示改装オープン
平成28年5月2日	新生代展示室展示改装オープン

展示室等面積

単位：m²

常設展示室の標本展示数

室名	当初面積	増築面積 (平成4年)	増築面積 (平成14年)	増築面積 (平成18年)	合計	展示室名	展示数 (点)
特別企画展示室	0	658	0	0	658	イントロホール	9
郷土の自然展示室 (ガラパゴス含む) ^{※1}	224	465	0	0	689	古生代展示室	564
収蔵庫	116	436	0	0	552	中生代展示室/ エドモントサウルス展示室	330
学習室・研究室・ 製作室等	159	278	0	0	437	新生代展示室	624
古・中・新生代展 示室 ^{※2}	1,276	0	242	224	1,742	自然史スクエア	2
設備機械室	221	151	31	25	428	郷土の自然展示室	2,387
廊下・便所・その 他	1,591	887	0	0	2,478	その他	299
計	3,587	2,875	273	249	6,984	計	4,215

※1 1階（ガラパゴス含む）：500 m²、2階：189 m²

※2 古生代展示室：506 m²、中生代展示室・エドモントサウルス展示室：794 m²、新生代展示室：442 m²

令和5年3月31日現在

豊橋市民愛市憲章

わたくしたち豊橋市民は

1. 心をあわせ美しい町をつくりましょう
1. よく働き豊かな町をつくりましょう
1. 愛情をもちあたたかい町をつくりましょう
1. きまりを守り明るい町をつくりましょう
1. 教養をたかめ文化の町をつくりましょう

豊橋市自然史博物館年報

第35号 令和4年度

令和5年(2023年)7月20日 発行

発行 豊橋市自然史博物館

〒441-3147

愛知県豊橋市大岩町字大穴 1-238

電話 (0532)41-4747

FAX (0532)41-8020

<https://www.toyohaku.gr.jp/sizensi/>